

第五十一回 貴族院議事速記録第二十六號

大正十五年三月十六日(火曜日)

午前十時二十分開議

議事日程 第二十六號 大正十五年三月十六日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 對支文化事業特別會計法中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第三 教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

案(衆議院送付)
第一讀會

第四 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(政府提出)
第一讀會

第五 議院法中改正法律案(衆議院送付)
第一讀會

第六 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關

スル法律案(政府提出)
第一讀會

第七 商事調停法案(衆議院送付)
第一讀會

第八 大正十四年法律第三十五號中改正法律案(衆議院送付)
第一讀會

第九 輸出生絲檢查法案(衆議院送付)
第一讀會

第十 郵便年金法案(衆議院送付)
第一讀會

第十一 郵便年金特別會計法案(衆議院送付)
第一讀會

第十二 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル

田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(衆議院提出)
第一讀會

第十三 姫路津山間鐵道敷設ノ請願
會 議

第十四 田名部大間鐵道敷設ノ請願
會 議

第十五 萩小郡間鐵道敷設ノ請願
會 議

第十六 白河廣田間鐵道敷設ノ請願
會 議

第十七 工業用鹽特價供給ニ關スル請願
會 議

第十八 荒川跨線道路新設ノ請願
會 議

第十九 福島地方裁判所白河支部存置ノ請願
會 議

第二十 柳津野澤間鐵道敷設ノ請願
會 議

第二十一 民間航空事業開發ニ關スル請願
會 議

第二十二 蠶絲局設置ノ請願
會 議

第二十三 堤郵便局ヲ一等郵便局ト爲スノ請願
會 議

第二十四 滋賀縣東黑田郵便局ニ集配事務開始ノ請願
會 議

第二十五 產業組合中央金庫法中改正ノ請願
會 議

第二十六 航路標識設置ニ關スル請願
會 議

第二十七 黑糖、白下糖消費稅免除ニ關スル請願
會 議

第二十八 沖繩分蜜糖業保護ニ關スル請願
會 議

第二十九 島根縣邑智郡布施村ニ郵便局設置ノ請願
會 議

第三十 久利郵便局ニ電信並電話事務開始ノ請願
會 議

第三十一 島根縣美濃郡二川村ニ無集配郵便局設置ノ
會 議

請願
第三十二 渡良瀨川改修ノ請願
會 議

第三十三 三國、吉永兩郵便局ニ電信並電話事務開始ノ
會 議

請願
第三十四 海面ニ於ケル行政區域制定ノ請願
會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

昨十五日豫算委員長ヨリ第三分科擔當委員赤池濃君ヲ第二分科兼務委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

對支文化事業特別會計法中改正法律案

教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

議院法中改正法律案

東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

商事調停法案

大正十四年法律第三十五號中改正法律案

輸出生絲檢査法案

郵便年金法案

郵便年金特別會計法案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

大正十二年勅令第四百五號廢止法律案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案

同日政府ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十三年國有財産増減總計算書

大正十三年度各省所管國有財産増減報告書

大正十三年國有財産増減總計算書檢査報告

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、請願委

員長報告、一條公爵

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 第二回請願委員長報告ヲ申上ゲマス、去ル二月二十四日第一回報告ヲ致シマシタル以後ニ於キマシテ、委員會ハ二回、分科會ハ第一、第三分科ニアツテハ三回ヅツ、第二、第四分科ニアツテハ二回ヅツ、開會イタシマシタ、請願文書表報告ハ二月二十四日ニ第五回ヲ、三月二日ニ第六回ヲ、三月十日ニ第七回ヲ提出イタシマシタ、又請願委員會特別報告ハ三月五日、三月十二日ノ二回提出イタシマシタ、三月十五日午後四時ノ締切ニ於テ、請願受領件數ハ二百一件、三百四十二通、連署人名三万九千二十名デアリマシテ、之ニ第一回報告ノ際、請願文書表未掲載件數八十九件、百五十八通アリマス、此中請願文書表掲載件數ハ百九十八件、三百九十通デアリマス、之ニ第一回報告ノ際、審査未了ニ屬シタル百三十六件、三百四十通ヲ加ヘマスト、三百三十四件、七百三十通ト相成リマス、以上ニ付キ審査イタシマシタル結果、院議ニ付スベシト議決シタルモノ三十九件、四十通、院議ニ付スルヲ要セズト議決シタルモノ五件、三十八通、審査未了ニ屬スルモノガ二百九十件、六百五十二通デアリマス、尙ホ請願文書表未掲載件數九十二件、百十通アリマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第二、對支文化事業特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、外務參與官永井柳太郎君

對支文化事業特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵德川家達殿

對支文化事業特別會計法中左ノ通改正ス

第七條中「二百五十萬圓」ヲ「三百萬圓」ニ改ム

第九條中「本會計ノ資金ハ」ヲ「本會計ノ資金ハ國債ヲ以テ保有シ又ハ」ニ改

第十一條 本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル事業費ノ支出殘額ハ遞次之ヲ

翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

附 則

本法ハ大正十五年度ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(永井柳太郎君) 對支文化事業特別會計法中改正法律案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明イタシタイト存ジマス、大正十二年四月對支文化事業特別會計法ヲ制定イタシマシテ以來、政府ハ銳意事業ノ堅實ナル發展ヲ圖リマシテ、諸般ノ文化的施設ハ著々整理改善ノ實ヲ擧ゲ來タノデアリマス、併シ尙ホ是ガ充實ノ必要ヲ感ズルコト痛切ナルモノガアリマス、例ヘバ支那ニ於テ行フベキ文化事業ノ一部分デアアル北京及上海ノ學術研究所ニ於ケル準備的研究、竝ニ從來支那ニ於テ經營セラレ來リマシタ東亞同文會及同仁會ノ事業ノ如キガ是デアリマス、加之、最近列國モ亦我國ト同様ニ義和團事件賠償金ノ全部又ハ一部ヲ對支文化事業ニ投ズル事トナリマシテ、今ヤ此種ノ事業ハ各國共ニ熱心ナル注意ヲ加フルコトナッタコトハ、御承知ノ通りデゴザイマス、從テ日本ト致シマシテハ、此方面ニ對シテ更ニ一層ノ努力ヲ盡シ、之ガ有終ノ美ヲ濟スコトニ最善ノ努力ヲ致サネバナライコトハ、各位モ必ズ御同感ノコトト信ジマス、然ルニ本特別會計法第七條ニ於ケル歳出制限額ハ御承知ノ通り二百五十萬圓デアリマシテ、到底、是等諸般ノ緊急ナル要求ヲ滿タスニ足ラザル憾ミガアルノデゴザイマス、依テ更ニ五十萬圓ヲ増額イタシマシテ、之ニ依ッテ文化事業ノ達成ヲ期スルコトト致シタイトデゴザイマス、依テ是ガ爲ニ積立金ノ運用方法ヲ改メマシテ、即チ從來、本會計ノ資金ハ單ニ大藏省預金部ニ對スル預入ノミニ限定サレテ居ッタデアリマスガ、更ニ該資金ヲ以テ國債ヲ保有シ得ルコトト致シマシテ、之ニ依ッテ前記所要額ノ全部ヲ安全ニ支出シ得ル方法ヲ講ズルノ必要ヲ認メタノデゴザイマス、尙ホ本特別會計ノ事業費ハ、事業ノ性質ニ鑑ミマシテ、前年度ノ歳出豫算殘額ヲ遞次翌年度ニ繰越シテ使用シ得ルノ途ヲ開キマシテ、之ニ依ッテ豫定事業計畫ノ遂行ニ支障ナカラシムルヤウ、本法律案ヲ提出スルノ必要ヲ感ジタノデゴザイマス、是ガ本改正法律案ヲ提出スルニ至リマシタ主要ナル理由デゴザイマス、

何卒御審議ノ上ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望イタス次第デゴザイマス

○阪本鈺之助君 登壇イタシマセウカ、餘リ長イコトデハゴザイマセスガ：

○議長(公府徳川家達君) 御登壇ノ方ガ總テノ點ニ宜カラウカト考ヘマス

〔阪本鈺之助君演壇ニ登ル〕

○阪本鈺之助君 唯今、上程サレマシタ對支文化事業ノ法律案改正デアリマス、此機會ニ於キマシテ、對支文化事業其モノノ成行ニ付テ、少シ政府ニ御尋ネシタイト思フノデアリマス、對支文化事業實施ト云フコトハ、事其モノニ於テハ私共頗ル喜ブ所デアリマシテ、效果サヘ好ケレバ盛ンニ御實行ニナリタイト云フコトヲ希望スル一人デアアルノデアリマスガ、既ニ實施サレテ以來數年、無論御努力ニモナッテ居リ、其方面ニ種々視察ノ目ヲ放ッテ居リマスレバ、著々效果ヲ擧ゲテ居ルコトデアラウト信ジマスケレドモ、我々局外者ガ唯、離レテ斯ウ見テ居リマスルト、ドノ位ノ效果ガ擧ガッテ居ルカト云フコトヲ實ハ疑フノデアリマス、第一、順序ヲ立テテ伺ヒタウ存ジマスルガ、收入ニ於キマスル、此元資金トナッテ參リマスル所ノ金ハ、青島ノ公有財産ニ關シマスル國庫證券ト、團匪事件ニ關係シマスル賠償金ト、此二ツガ財源ニナッテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、此金ハ最早收入スベキモノハ悉ク收入ヲ致シテ固定イタシテ居ッテ、之ヲ利殖イタシテ使用スルコトサヘ宜シキヲ得レバ、都合ヨク行クノデアアルカ、或ハ又マダ一取ルベキ金ガ取ラレズニ居ルノカ、幾ラカ有ルノデアアルカ、若シ取ルベキ金ガ有ルナラバ、唯今ノ支那ノ現狀ニ鑑ミマシテ、尙ホ滯リナク取り得ル見込ガアルカドウカ、既ニモウ取ルモノハ取ッテシマヒ、何等今後ニハ關係ガ無イト云フコトデゴザイマスレバ、別ニ御説明ヲ要セヌ譯デゴザイマスルガ、此點ヲ少シ伺ッテ見タイ、ソレカラ歳出ノ方ニ參リマシテ、此御使ヒ途ヲ見マスルト、先ヅ留學生ト云フ者ヲ御出シニナッテ居ル、又此豫算ヲ見マスルト、能ク分リマセスガ：分ラヌコトハナイ、見ヤウガ惡イノダラウト思ヒマスガ、アチラヘモ日本ノ學生ヲ出シ、支那カラモ又日本ニ學生ヲ引受ケテ、兩方ノ費用ヲ御支辨ナサルモノデアラウト想像スルノデアリマスガ、細カイ數字ニマデ涉ッテ御説明ハ要シマセスガ、支那ヘ出シテ居ル留學生ノ現狀如何、又支那カラコチラニ參ッテ居ル學生ノ現狀如何、殊ニ支那カラ參ッテ居ル學生ト云フモノハ、ドウ云フ狀況ノモノデアリマスルカ、時々支那ノ學生ト云フモノハ、何カ事ガアリマスルト大集會ヲ開イテ、俄ニ歸國ヲスルトカ、若クハ公使館ニ迫ルトカ

云フコトヲ見聞イタスノデアリマスガ、此費用ヲ以テ補助サレテ居ル所ノ學生ハ、別ニ沈著ニ致シテ居ッテ、是等ノ仲間ニハ這入ッテ居ラスモノデアルカ、時ニハ矢張り仲間入りヲスルモノデアルカ、又平常ドウ云フ方法ヲ以テ御取締ニナッテ居ッテ、ドウ云フ方面ニ入學サセテ御イデニナルカト云フヤウナコトヲ、大體デ宜シイノデアリマスカラ承リタイと思フ、ソレカラ第二ハ、交換講演ト稱シテ、本邦カラモ相當ノ學者ヲ御派遣ニナッテ、アチラデ講演ヲスルコトニナッテ居ル、又支那カラモ相當ノ學者ヲコナラニ御招キニナリマシテ、出ス方モ招ク方モ皆此費用ノ中カラ出シテ、四万圓以上ノ金ヲ御使ヒニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、ドノ位ノ效果ガアリマスルカ、ドウモ私共、局外者カラ見マスルト、支那カラ學者ガ來テ講演ヲシタカラト云ッテ、ドレ程ノ日本人ニ感ジヲ與ヘテ居ルカ、又支那ヘ參ッテ、立派ナ學者ガ日本カラ折角御苦勞下サレテ、ドノ位ニ受ケテ居ルモノデアルカ、辭令ニ巧ミナル支那ノコトデアルカラ、相當ニ感謝モ致シテ居ルカモ知レマセヌガ、實際ノ所ヲ穿ッテ見マシテ、ドウ云フモノデアリマセウカ、政府ハドンナ風ニ御覽ニナッテ居ルカ、無論、效果アリト仰シヤイマセウケレドモ、其效果ノ有リ工合ガドウ云フモノデアルカト云フコトヲ、出來得ルダケ一ツ御説明ヲ願ヒタイと思フ、次ニハ、補助費ト云フモノヲ此中カラ御出シニナッテ居リマスルガ、其補助費ヲ見マスルト、青島ノ諸學校ノ、是マデ日本ガ造ッテ居ッテ學校デモ、大方向ウデ引受ケマシタノデ、ソレニ補助ヲ致シテ繼續ヲスルト云フコトニナッテ居ルノダラウト思ヒマスガ、ソレハドウ云フヤリ方デ以テ、幾ッ程ノ學校ヲドウシテ補助シテ居ルノデアルカ、又東亞同文會ト申スモノハ、是ハ古クカラ有リマスノデ、皆様御熟知ノモノデアリマスルガ、多少消長ガアッテ、振ッたり振ハナカッタリシテ居ルヤウデアリマスガ、兎ニ角、數十年一日ノ如ク努力ヲ致シテ居ル、元ハ東亞同文書院ト申シタカト思ヒマスガ、會カドチラカ知リマセヌガ、之ニ三十五万九千圓ト云フ金ヲ御補助ニナルヤウデアリマスルガ、東亞同文書院ト云フモノノ、今ノ現況ハドウ云フモノデアルカ、此即チ三十五万餘圓ノ金ヲ御補助ニナッタニ付テ、ドレダケノ進歩ヲ圖ツタカト云フコトヲ承ッテ見タイ、ソレカラ次ガ同仁會、是ハ支那ニ向ッテ醫業ノ施設ヲシテ、支那人ヲシテ我國ノ德ニ化セシムルト云フ意味デ、十年來、大隈侯在世中ナドハ非常ニ御盡力ナサレタモノデアリマスルガ、私モアチラニ參ッテ、同仁會ノ病院モ一々視察シタコトモゴザイマスルガ、非常ニ勉強ハナサッテ居

リマスルガ、今日ハ如何カ存ジマセヌガ、北京ニ在リマス所ノ同仁會ノ病院ナドハ「ロックフェラー」ノ巨大ナ病院ガ隣リニ出來マシテ、同仁會ノ病院ハ頗ル遜色ガアッテ、遺憾ニ存ジタコトデアリマス、幸ニ此對支文化事業ナドノ補助モ得マスルシ……アノ會ニシテ四十六万何ンボト云フモノヲ、別ニ此費用カラ補助ヲ受ケルト云フコトハ非常ナ都合ノ好イコトデ、爲ニ大イニ振起イタシタコトデアラウト存ジマスルガ、ドノ位ニ振起タカ、多分此中ニハ濟南ノ元陸軍デ立テラレタ病院モ含ンデ居ルノデハナイカト思フ、是モ私ハ一度見テ居リマスルカラ記憶ガアリマスルガ、是等モ良イ病院デアアル、此病院ナドガ四十六万餘圓ノ中ノ最モ重ナルモノデアルカ、他ニドウ云フヤウナモノニ使ッテ御イデニナルカト云フコト、又其現況ヲ承ッテ見タイと思フノデアアル、ソレカラ日華學會ト云フモノニ、僅カノ金デハアリマスルガ、二万五千圓御補助ニナルヤウデアリマスガ、此日華學會ト云フモノハ、ドウ云フヤウナモノデアアルカ、是モ極クザットデ宜シウゴザイマスガ、現況ヲ承ッテ見タイ、ソレカラ助成金ト云フモノニ三十三万圓カ、概括シテ豫算ニ計上サレテ居リマスガ、助成金ハ主モドウ云フ方面ニ御使ヒニナルノデアアルカ、豫メ定メズニ置イテ、外務大臣ノ御見計ラヒデ或ハ御ヤリニナルモノカノヤウニモ察セラレマスガ、サウデナケレバドウ云フ……ソレデアッテモ、此助成金三十三万餘圓ハ、ドウ云フ風ニ御使ヒニナル御見込ノモノデアアルカ、斯ウ云フヤウナ點ヲ承リマシテ、本案ノ贊否ヲ決シタイト存ズルノデアリマス、要スルニ此對支文化事業特別會計ニ依ッテ支出サレル所ノ金及收入ノ狀態ハドウ云フモノデアアルカト云フ、普遍的ニ知識ヲ私共ニ御與ヘ下サルコトヲ希望スル爲ニ、御説明ヲ煩ハス次第デアリマス

〔政府委員永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(永井柳太郎君) 唯今、阪本君カラ對支文化事業ノ實狀ニ付テ、更ニ詳細ナル説明ヲナスヤウニ御話ガゴザイマシタノデ、御質問ノ順序ニ從ヒマシテ、簡單ニ御答ヘ申シタイト存ジマス、第一ニ、對支文化事業ノ資金ハ、國匪賠償金トカ、青島公有財産補償、國庫債券ノ元利トカ云フヤウナモノカラ積立テルコトニナッテ居ルガ、ソレハ確實ニ收得サレテ居ルカドウカト云フ御質問デアッタヤウニ存ジマス、國匪賠償金ハ、是ハ關稅ヲ資源ニシテ居ルノデアリマスルカラ、確實ニ支拂ハレテ居ルノデゴザイマス、膠濟鐵道ノ國庫債券ノ利子モ此資源ニナッテ居ルノデアリマスガ、此支拂モ今日マデノ所ハ確實ニ

支拂ハレテ居ルノデゴザイマス、青島公有財産ニ關スル國庫債券ノ支拂……元利支拂ガ時々延シタコトハゴザイマスケレドモ、當方カラ催促イタシマシテ、今日マデノ所デハ收得スベキモノハ收得シテ居ル譯デゴザイマシテ、財源ノ點ニ於テ、今日ハ何等不確實トシテ心配ヲスル程ノモノハ無イヤウニ考ヘマス、第二ニ、日支兩國カラ互ニ留學生ヲ出シテ居ルヤウデアアルガ、其成績ハドウカト云フ御尋ガアツタヤウニ思ヒマスガ、支那カラ日本ニ留學生ヲ派遣スルコトニナツテ居リマスケレドモ、日本カラ支那ニハ留學生ハ出シテ居ラナイノデゴザイマス、日本カラ支那ニ派遣イタシマスノハ、時々視察員ト云フモノヲ出スダケデゴザイマス、留學生ハ支那カラ日本ニ參ッテ居ルダケデゴザイマスガ、是等ノ留學生ハ總テ專門學校以上ノ學生デゴザイマシテ、總數約千五百名ニ達スルノデアリマス、是等ノ學生ハ何レモ眞面目ニ研究イタシテ居リマシテ、他ノ留學生ニ較ベマシテ、寧ロ模範トナルモノガアルヤウニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、第三ニハ、交換講演ヲヤツテ居ルガ、其實蹟ハ如何デアルト云フ御尋デゴザイマシタガ、交換講演ノ方ハ、マダ十分ニ成績ヲ具體的ニ認メルト云フコトハ出來マセスケレドモ、雙方ノ尊敬サレテ居ル學者ガ、互ニ自國ニ於テ研究イタシタ結果ヲ發表イタシテ、其知識ノ交換ニ依ッテ、日支兩國ヲ精神的ニ、思想的ニ結合スルコトニハ、少カラザル貢獻ガアルヤウニ考ヘルノデゴザイマス、第四ニハ、青島ニ於ケル各種ノ學校ニ對スル補助ヤ、東亞同文會並ニ同仁會ナドニ對スル補助ノコトニ付テ、果シテ豫期ノ成績ヲ舉ゲテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテモ、御尋ガアツタヤウニ思ヒマスガ、

青島ノ方ニ於テハ御承知ノ通り、青島日本中學校、青島日本高等女學校、青島小學校ナドニ對シマシテ、ソレゾレ補助ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是等ノ學校ハ相當ナ成績ヲ舉ゲテ、日支兩國ノ文化的ノ結合ノ爲ニ、少カラザル貢獻ヲシテ居ルヤウニ存ジマス、東亞同文書院……東亞同文會ハ御承知ノ通り、上海ニ東亞同文書院ヲ設ケテ居リマスガ、約六百名ホドノ學生ヲ收容シテ居リマシテ、東亞同文書院ノ學生及卒業生ガ支那ノ實情ヲ研究シ、又研究シタ結果ヲ日本ノ人ニ傳ヘマスル點ニ於キマシテモ、又日本人ガ支那人ト各種ノ共同目的ノ事業ヲ營ム場合ニ於テモ、其協力者トシテ、過去ニ於テモ、現在ニ於テモ、少カラザル功績ヲ舉ゲテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、東亞同文會ハ上海ニ同文書院ヲ有ッテ居リマス外、天津ニ於テモ、漢口ニ於テモ、今日ハ中學校ヲ經營シテ居リマシテ、ソレ等ノ學校モ最近ハ著

々トシテ成績ヲ舉ゲテ居ルノデゴザイマス、同仁會ノ方デハ、漢口、北京、此兩所ニ於テ同仁會自ラ經營シテ居ル病院ノアリマスル外、濟南ト青島ニ於キマシテハ、又ソレゾレ病院ノ委託經營ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、支那ニ對スル社會的文化的事業ニ對シテ、相當ナ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、私共モ、唯今阪本君ガ御話ニナリマシタ通り、我ガ同仁病院ノ如キモノハ、其規模ニ於テ、又其設備ニ於キマシテ、唯今御引用ニナツタ「ロックフエラー」ナドノ事業ニ比ベテ、誠ニ不十分ナ點ガアルコトヲ遺憾ト政シテ居ルノデゴザイマス、私モ實際ニ其事業ヲ見マシテ、阪本君ノ御説明ニナリマシタト同様ナ感ジヲ持ッタノデアリマスガ、併シ政府ト致シマシテハ、出來ルダケ諸外國ノ事業ニ對シマシテモ遜色ナキヤウニ、同仁會ノ事業ヲモ援助イタシタイト云フ精神カラ、此度、補助金ノ如キモノモ増額スルコトニ決メマシテ、ソレニ對シテ御協賛ヲ仰イデ居ル次第デゴザイマス、ソレ等ノコトガ御質問ノ主要ナ點デアツタヤウニ……

〔阪本鈺之助君「日華學會」ノコトニ付テ……ト述フ〕

ソレカラ最後ニ、日華學會ニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、簡單ニ其實狀ヲ申上ゲテ置キマス、日華學會ハ、是ハ支那ノ留學生ノ爲ニ色々骨ヲ折ッテ居ルノデゴザイマス、例ヘバ留學生ノ爲ニ學校ヲ選擇イタシマストカ、入學ノ便宜ヲ圖ッテヤルトカ、寄宿舎ノ設備ヲスルトカ、ソレカラ又學校ニ入學シ、寄宿舎生活ヲスルダケデナシニ、銀行トカ、會社トカ、工場トカ、其他個人商店ナドニ實習見習ヲシタイト云フヤウナ者ニ對シマシテハ、出來ルダケ其手引ヲシ、其世話ヲスルトカ云フヤウナコトモ、事業ニナツテ居ルノデゴザイマス、是等ノコトニ對シマシテ種々努力ヲ致シテ居リマスル外ニ、日華學會ノ著シイ事業ト致シマシテハ、此東亞高等豫備學校ノ經營ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、是ハ各大學、高等學校、其他各種ノ專門學校ニ入學ヲ希望シテ居リマスル支那ノ留學生ニ對シテ、豫備知識ヲ與ヘル、豫備教育ヲ施スト云フコトヲ目的ニ致シテ居ルノデゴザイマス、現在ニ於キマシテハ約一千名内外ノ學生ヲ收容イタシテ居リマス、詰リ日華學會ハ、日本ニ參リマシタ學生ノ爲ニ、親身ニナツテ世話ヲシテ、サウシテ入學カラ、寄宿舎生活ヲスルコトカラ、學校ヲ出タ後ノ實習ノコトカラ、萬般ノ世話ヲスル、サウシテ支那ノ留學生ヲシテ外國ニ在ルト云フヤウナ寂寞ナル不便ナル感ジヲ懷カセナイヤウニシヤウト云フ爲ニ、組織セラレテ居ルノデゴザイマシテ、政府ト致シマ

シテハ、日華學會ノ事業ハ對支文化事業ノ精神ニ合致スルモノト認メマシテ、豫算ニ計上シテアリマスルヤウニ、補助ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、是等ガ唯今ノ御質問ニ對スル主要ナル點カト思ヒマスガ、尙ホ御不審ノ所ガアリマシタラ、重ネテ御答ヘ致シマス

○阪本鈺之助君 モウ一ツ最後ニ御尋ネ申シマシタ、本員ガ最モ必要ト認メマス點ニ付テ……

○議長(公爵徳川家達君) モウ少シ大キナ御聲デ願ヒマス

○阪本鈺之助君 餘程大キナ聲ノ積リデアリマスガ……最後ニ御尋ネ致シマシタ助成費ト云フモノガ、如何ナル……既ニ使ハレテ居ルナラバ、ドウ云フコトニ使ハレテ居ルカ、又十五年度ニドンナ御計畫デアルカト云フヤウナコトヲ伺ヒタイト云フコトヲ申シタノデアリマスルカラ、此助成費三十三萬圓ノ使途如何ト云フコトヲ、モウ一應御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ唯今ノ御答辯ニ對シテ補足ヲシテ少シ伺ヒタイと思ヒマスガ、青島ノ公有財産ニ付テ收入スル金ハ、相當遲延勝デアルガ、催促ヲシテドウニカ今日マデハ收入ヲ致シテ居ルト云フ御言葉デアリマシタガ、遲延ノ程度ハ如何、隨分骨ノ折レルコトデアリマスガ、其遲延ガ翌々年度ニナツタト云フヤウナ事實ガアルカ、其狀況ヲ承リタイノデアリマス、ソレカラ留學生ハ日本カラ出シテ居ルノデナイ、支那ノ學生ヲ日本ヘ引受ケテ居ルノガ千五百人程モアルト云フ御答辯デアリマス、是ハ相當ニ取締モ著イテ居ル、寧ロ模範トモ申スベキモノデアアル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、サウ鑄型ニ倣メタヤウニモ參リマスマイケレドモ、此千五百人ハ何等カノ統一法ガ著イテ居リマシテ、其首腦者ガ指圖スレバ、右ヘデモ、左ヘデモ動クモノデアツテ、他ノ支那留學生ト稱スル者ガ種々妄動ヲ致ス場合ニモ、其千五百人ダケハ其取締ヲスル人ガ注意ヲ致シマスレバ、微動ダモ致サナイ、斯ウ云フコトニ認メラルノデアリマスガ、其點ヲ承リタイ、ソレカラ、日本カラハ留學生ハ出シテ居ラヌガ、視察員ト云フモノヲ時々出シテ居ルト云フコトデ、成程、豫算ヲ見マスト、六萬六千圓ナニガシト云フモノガ使ハレテ居ルヤウデアリマス、大層多數ノ人ガ支那ノ視察ニ出ルカノヤウニ見エマスガ、是ハドウ云フ方面ノ人ガ視察ニ出ルノデアリマスガ、サウシテ其視察ノ效果如何、又彼ノ地ニ於ケル彼ノ官民ノ氣受ケ如何、將來モ尙ホ之ヲ踏襲シテ改ムル所ナク、同ジ種類、同ジ方針デ御派遣ニナリマスカト云フヤウナコトヲ承リタイ、ソレカラ東亞同文書院ノ學

生ガ、此金ノ爲ニ養ハレテ居ル者ガ六百人程モアルト云フコトデアリマスガ、左様ニナリマシタ以上ハ、從前ハ各府縣ニ於テ費用ヲ出シマシテ、二人乃至五六人デスカノ人ヲ、毎年各地方ノ費用デ推薦ヲ致シテ、此東亞同文書院ヘ付託シタ時代ガアリマシタガ、此節ニ於キマシテハ、ソレ等ハ廢メマシテ、皆此對支文化事業ノ費用ノ恩澤ニ浴シテ、是等ノ人ハ養ハレテ居ルノデアリマスガ、又從前、各府縣ノ費用デ養テ居ッタ東亞同文書院ノ卒業生ト同ジコトデ、政府ノ手ニ依ツテ其身ノ振方ヲ付ケル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、又ハ府縣ノ推薦ニ係ル所ノ生徒ト云フモノハ、從前ノ通り別ニアルノデアリマスカト云フコトヲ承リタイ、此諸點ニ付テ……尙ホソレカラモウ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、日華學會ノ狀況ハ承リマシタガ、神田區ノ三崎町ニアリマス、確カ日華學會トアッタと思ヒマスガ、西洋造リノ餘リ立派ナモノデヤゴザイマセヌガ、可ナリノ建物ガアツテ、時々集會ヲ催サレテ居ルヤウデアリマスガ、アレハ即チ其本部ト云フヤウナモノデアリマスガ、左様ナ點ヲ序デナガラ參考ニ伺フノデアリマス

〔政府委員永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(永井柳太郎君) 唯今、阪本君カラ重ネテ御質問ガアリマシタノデ、御答ヘ申上ゲタイト存ジマス、第一ニ此助成金ノ内容ニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、此助成金ノ中デ二十萬圓ガ、研究所ノ……北京、上海ニ設ケマスル研究所ノ準備研究及設備ノ完了イタシマスル前ノ豫備研究ノ費用ニナルノデゴザイマス、御承知ノ通り、對支文化事業ノ一部ト致シマシテ、北京デ人文科學ノ研究所、上海デ自然科學ノ研究所及圖書館ヲ開クコトニナツテ居ルノデゴザイマスガ、其研究所ノ準備研究ト致シマシテ、二十萬圓ヲ要求スルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ其繪畫ノ展覽會ヲ致シマストカ、又圖書ヲ刊行及寄贈ヲ致シマス爲ノ補助トカ、サウ云フコトノ爲ニ助成金ヲ要求スルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ次ニ、先程、支那カラ日本ニ參ッテ居リマス留學生ノ總數ガ約千五百ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、是ハ支那カラ日本ニ參ッテ居リマス留學生ノ總數デゴザイマシテ、其中ノ補助金ヲ受ケ居リマシタノハ、是ハ從來ハ約三百デゴザイマシタ、來年度ニハ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ三百五十名程ニ其補助金ヲ受ケル者モ増加イタシタイノデアリマス、日本カラ支那ニ參リマスル視察員ハ、是ハ對支文化事業ニ關係ノアル職業ニ從事シテ居ル者ヤ、又ハ學生デゴザイマス、ソレ等ノ者モ一時的

ニ此視察員トシテ支那ニ派遣シテ居ルノデゴザイマス、留學生ノ内地ニ在ル者ヲ統一スルニハ、何等カノ機關ガアルコト云フコトデゴザイマシタガ、ソレニハ此支那ノ方デ留學生ノ監督ヲスル機關ガ出來テ居リマシテ、其方デ監督ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、次ニ上海同文書院ニ對シテ少カラザル補助ヲ與ヘテ居ルノデアルガ、各府縣カラ派遣セラレテ居ル者トノ關係ハ、如何ニナツテ居ルカト云フ御尋デアッタ思ヒマスガ、各府縣カラ選抜シテ上海ノ同文書院ニ派遣イタシマスルコトハ、從來ノ通りデゴザイマス、ソレハ其儘存續シテ居リマシテ、サウシテ其派遣サレタ學生、其他ノ學生全體ノ教育ニ對シマシテ、對支文化事業カラ同文書院ノ事業ニ援助ヲ與ヘテ居ルト云フ譯ニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ東京ノ神田ニ在リマスル日華學會ノ本部ニ對シテ御尋ガアッタヤウニ存ジマスガ、御尋ネニナリマシタ場所ガ即チ日華學會ノ本部デアルト同時ニ、アスコニ會館ガ出來テ居リマシテ、色々ナ集會ニ充テルト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス

○阪本鈺之助君 甚ダ澤山日程ノゴザイマスノニ時間ヲ潰シテ恐縮デゴザイマスガ、モウ一回簡單ニ御許シテ願ヒタイト思ヒマス、唯今、御尋ネ申シタ中ノ青島ニ關シテ受取ルベキ金ノ遲延ノ狀況、例ヘバ翌々年度デナケレバ這入ラナカッタトカ、或ハ斯ウ云フ狀況デアッテ、ヤット受取ッタト云フコトノ、何カ狀況ヲ承ルコトガ出來レバ、ソレヲ承リタイト云フコトヲ再三申シマシタケレドモ、唯今ノ御答ニ漏レテ居ル、ソレカラ助成金ノ二十萬圓ノ使途ハ唯今御示シニナリマシタガ、尙ホ十三萬圓ト云フ金ハマダ御未定デアッテ、唯、外務省ノ手心デ御使ヒニナルカ、此二點ヲモウ一應伺ヒマス

〔政府委員永井柳太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(永井柳太郎君) 重ネテ御答ヘ申上ゲマス、此青島ノ公有財産カラ得マス收入ハ、時トシテ遲延スルコトガアルト申上ゲマシタガ、御承知ノ通り支那ノ財政狀態ノ困難ナル所カラ、時トシテ遲延イタシタコトガ有ルノデゴザイマスケレドモ、ソレモ非常ニ遲延シタト云フ譯デハアリマセズ、極ク僅ナ期間遲延イタシマシタコトハ有リマスケレドモ、ソレハ當方カラ催促ヲ致シマシテ、直チニ其約束ガ履行サレテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ助成金ノ内容ニ付キマシテ、最モ大キナモノガ二十萬圓デ、残りノ十數萬圓ノ金ニ付テモ、尙ホ詳細ナル説明ヲスルヤウニ御話ガゴザイマシタガ、其點ハ御差支ガナケレバ委員會デ詳細申上ゲルコトニ、御許シテ願ヒタイト存ジマ

ス

○議長(公府德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

對支文化事業特別會計法中改正法律案特別委員

伯爵松浦	厚君	子爵藪	篤麿君	子爵清岡	長言君
男爵北里	柴三郎君	北條	時敬君	男爵大島	富士太郎君
德富猪一郎君		大城	兼義君	森	平兵衛君

○議長(公府德川家達君) 日程第三、教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長 公府德川家達殿

教育改善及農村振興基金特別會計法中左ノ通改正ス

第二條中「一億三千萬圓」ヲ「一億四千四百萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ大正十五年度ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 曩ニ第五十回帝國議會ニ於キマシテ、造幣局資金ノ内一億三千萬圓ヲ基金ニ繰入レ、之ガ利殖金ヲ以テ教育ノ改善及農村振興ノ經費ニ充當スル爲メ特別會計ヲ設置イタシマシタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、然ルニ造幣局ノ資金ハ大正十四年度末ニ於キマシテ、約六千四百餘萬圓トナル見込デアリマス、而シテ造幣局ノ資本ハ五千萬圓ヲ以テ足ル筈デアリマス、ソレ故ニ、千四百萬圓ハ差當リ造幣局ノ資金トシテ之ヲ留保スルノ必要ガアリマセヌノデ、他ノ使途ニ使用スルコトガ出來ルノデアリマス、此金額ハ前回ノ繰入ト同様ノ趣意ヲ以テ、教育改善及農村振興基金ニ

繰入レ、之ガ利殖基金ノ……之ガ増加基金ノ利殖金ハ之ヲ農村振興ニ關スル費用ニ充當スルコトハ、最モ機宜ニ適スルモノト認メマシテ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案特別委員

伯爵 松木 宗隆君 玉利 喜造君 木場 貞長君

井上 哲次郎君 男爵 南部 光臣君 澤柳 政太郎君

赤池 濃君 石川 三郎君 土田 萬助君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、明治三十八年法律第十七號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

明治三十八年法律第十七號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十八年法律第十七號中左ノ通改正ス

第一條中「九千萬圓」ヲ「一億千萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

專賣局及製鐵所据置運轉資本補足ニ關スル法律

明治三十八年二月法律第十七號

第一條 專賣局及製鐵所ノ据置運轉資本ニ不足ヲ生シタルトキハ大藏大臣ハ借入金ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行シテ一時之ヲ補足スルコトヲ得但シ

其ノ金額ハ專賣局ニ在リテハ九千万圓製鐵所ニ在リテハ九千八百萬圓ヲ超過スルコトヲ得ス

前項ノ借入金及融通證券ハ遅クトモ翌年度ニ於テ之ヲ償還スヘシ

第二條 大藏大臣ハ前條第一項ノ借入金又ハ融通證券ノ發行ニ代ヘ當該會計年度内ニ限り國庫餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 本案ハ專賣局及製鐵所据置運轉資金補足ニ關スル法律ノ第一條ニ專賣局ノ据置運轉資金不足補足額ガ九千万圓トナツテ居リマスノヲ二千万圓ヲ増額イタシマシテ、一億一千万圓ニ改メタイト云フ改正案デアリマス、現行法ニ依リマスルト、專賣局ノ据置運轉資本金ハ一千万圓デアリマシテ、其資本ニ不足ヲ生ジタル時ハ大藏大臣ハ借入金ヲ爲シ、又ハ融通證券ヲ發行シテ一時之ヲ補足シ得ルノデアリマシテ、其借入金額又ハ融通證券發行ノ制限額ガ九千万圓デアリマス、故ニ現在ニ於キマシテハ、右制限ノ九千万圓ト、据置運轉資本受入額一千万圓、合計一億萬圓ノ範圍内ニ於テ事業ヲ經營イタシテ居リマスノデアリマス、然ルニ近時、專賣品ノ賣行ハ累年増加ノ傾向ヲ示シマシテ、事業ハ年ト共ニ發展シツツアルノデアリマス、從テ是ガ需給ノ圓滿ヲ圖リ、事業ノ發展ニ順應イタシマスルノニハ、當時、一定數量ノ原料、材料竝ニ專賣品ノ準備貯藏ヲ必要ト致シマスル關係上、年度末ニ於ケル持越品ガ非常ニ多額ニ上ルコトニナツタノデアリマス、殊ニ大正十五年度ニ於キマシテハ、十三、十四兩年度ヲ通ジテ、鹽ノ生産ハ稀有ノ豐收デアリマシタガ爲ニ、内地鹽ノ持越數量ガ非常ナ巨額ニ達シマシタ、又葉煙草ニ於キマシテモ、十三年度及十四年度ニ於テ賠償金ノ引上ヲ致シマシタ結果、其持越額ハ相當ノ巨額ニ達シマシテ、年度末ニ於ケル總持越物品價額ハ一億一千八百餘萬圓ニ達スベキ豫定デアリマス、從テ現在ノ資本ニテハ、管ニ事業ノ遂行ニ支障ヲ來シマスルバカリデナク、延イテ其年度ノ益金ヲ所定ノ如ク年度内ニ一般會計ニ納入シ得ザル虞ガアルノデアリマス、故ニ現行法据置運轉資本不足補制限額九千万圓ヲ、更ニ二千万圓増額ヲシテ、一億一千万圓ト改正ヲ致シマスル必要ガアルノデアリマス、御審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致

サセマス

〔小林書記官朗讀〕

明治三十八年法律第十七號中改正法律案特別委員

伯爵 酒井 忠 正君 子爵 新庄 直知君 子爵 舟橋 清賢君
男爵 中島 久萬吉君 仁尾 惟茂君 山之内 一次君
西久保 弘道君 西野 元君 瀨川 彌右衛門君

○議長(公爵德川家達君) 日程第五、議院法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

議院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字及——ハ衆議院修正)

議院法中左ノ通改正ス

第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取リタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

停會ノ日數ハ審査期間ニ算入セス

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 本日ハ總理大臣ガ樞密院會議ニ出席中デゴザリマスルカラ、私カラ本案提出ノ理由ヲ説明申上ゲマス、現行制度ニ於キマシテハ、豫算案ガ衆議院ニ提出セラレタ場合ニ於キマシテハ、豫算委員ハ、其院ニ於テ受取ッタ日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ了シテ、本會議ニ報告スルコトトナッテ居ルノデゴザリマス、是ト權衡ヲ得セシメル爲ニ、貴族院ニ於テモ同様ノ規定ヲ設クルコトヲ必要ト認メマシテ、改正案ヲ提出イタシマシタ次第デ

ゴザリマス、固ヨリ豫算委員會ニ於ケル審査期限ノミニ關係スルモノデゴザリマシテ、敢テ貴族院ノ權限ニ關係スルモノデハゴザリマセス、本案ハ昨年之ヲ帝國議會ニ提出イタシマシタノデゴザリマスルガ、其成立ヲ見ルニ至ラナカッタノデゴザリマスルカラ、今回更ニ提出イタシマシタ次第デゴザリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛アラムコトヲ切ニ希望イタシマス

○男爵池田長康君 本日ハ總理大臣モ御出席……見エマセヌヤウデアリマスシ、豫算ニ關スルコトデアリマスルガ、大藏大臣モ御出席ナイノデアリマス、其他國務大臣ハ御出席デアリマスルガ、此議院法ノ……立法院ノ改正デアリマスルガ、山川長官ノ御答辯ヲ得テモ宜シウゴザリマスルガ、或ハ茲ニ御出席ノ國務大臣ヨリ又御答辯デモ得ラレマセウカ、チヨットソレヲ伺ヒタウゴザリマス

○議長(公爵德川家達君) 池田男爵、今、總理大臣、大藏大臣ハ缺席セラレテ居リマスガ、他ノ國務大臣ニ於テ答辯ガ出來ルヤ否ヤト云フ御質疑ノヤウニ思ヒマスガ、其御質疑ノ事柄ヲ國務大臣ノ御耳ニ御入レニナッタ上ノ方ガ宜クハナイカト考ヘマス

○男爵池田長康君 承知イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 登壇ヲ望ミマス

〔男爵池田長康君演壇ニ登ル〕

○男爵池田長康君 議院法ノ改正デアリマスルカラ、立法院ノ矢張り改正ニ關スル問題デアアルノデ、實ハ本員ハ政府ヲ代表サレマシタ總理大臣、又場合ニ依リマシタナラバ、豫算ニ關係ガアルモノデアリマスカラ、大藏大臣ノ御所見モ承ッテ置クガ必要デアラウト思フノデアリマス、併シ御都合ガアリマシテ御出席ヲ得マセスト致シマシタナラバ、實ハ國務大臣トシテ御説明ヲ煩ハスト云フコトガ妥當ダラウト思フケレドモ、併シ御用意ノ無イノニ拘ラズ、敢テ……強ヒテ御質疑ヲ致スト云フコトハ、是モ亦、如何デアラウカト思フ、ソコデ唯今、法制局長官カラ御説明ガアリマシタガ、法制局長官ノ御答辯ヲ先ヅ得マシテ、尙ホ本員ガ質疑ヲ致シマス點ヲ總理大臣ニモ御傳言ヲ願フト云フコトニ致シマシテ、満足イタサウト思フノデアリマス、御承知ノ通り、此議院法ノ改正ニ付キマシテハ、是ハ一面カラ申シマス、重大ナル法案デアアルノデアリマス、然ルニ總理大臣、竝ニ此豫算ニ關係アル大藏大臣ノ御出席ノ無イト云フ事柄ハ、御出席ニナリ得ナイ、又他ニ理由ガアルノデアリマセ

ウケレドモ、此法案ガ、寧ロ私ハ政府トシテ輕ク取扱ハレテ居ルノデハナイ
カト云フコトニ付キマシテ、寧ロ輕キ、私ハ不満足ヲ感ズルノデアリマス、
此法案ガ出マシタコトニ付キマシテ、私ハ其眞意ヲ眞ニ了解スルニ苦シムノ
デアリマス、何ノ爲ニ之ヲ御出シニナルノカ、其動機、其理由ガ、私ハ本當
ニ之ヲ理解スルコトガ出來ナイノデゴザイマス、唯今モ山川長官ヨリ、去年
之ヲ出シタガ審議ニ至ラズシテ終ッタト仰セニナルノデアリマスガ、昨年ノ情
勢ヲ見マスルナラバ、此貴族院ノ考ハ明瞭ニ現ハレテ居ル、然ルニ今年之ヲ
御提出ニナル、其間ノ經過ヲ見マシテ何等變化ハナイ、何故ニ本年又之ヲ御
提出ニナルカ、其理由ガ私ハハッキリ分ラナイ、又御提出ノ御説明ヲ承ッテ見
テモ、唯、均衡論、衆議院ガ二十一日デアルカラ、貴族院モ二十一日デナケ
レバナラス、均衡上サウダ、誠ニ私ハ簡單ナ、サウシテ寧ロ私ハ淺薄ナ、私
ハ御考デヤナイカ、斯ウ思フノデアリマス、一體均衡論ト云フノハ、唯、日
ニチヲ以テ均衡論ト云フコトヲ言ヒ得ルカ、ドウカ、其審議ノ實際ノ狀況ヲ
以テ均衡論ト云フモノヲ考ヘテ見ナケレバナラス、若シ又均衡論ヲ以テ致シ
マシタナラバ、會期ヲ兩分イタシマシテ、サウシテ半分ハ衆議院、半分ハ貴
族院ト、斯ウスルノガ單純ナル均衡論カラ申シマスル必然ノ結論デアリマス
ル、片一方ハ二十一日スルカラ、貴族院モ二十一日セナケレバナラスト云フ
均衡論ノ根據ト云フモノハ、誠ニ薄弱デアル、私ハ其理由ヲ解スルニ苦シム
ノデアリマス、即チ貴族院ハ尙ホ審議ノ餘裕ノ時日ガアル、衆議院ハ二十一
日ト決メラレテ居ル、故ニ衆議院ノ審議期間ヲモウ少シ長ク延バサウ、サウ
云フ御理由デアルナラバ、玆ニ均衡論ノ又出發點ガアルノデアリマス、併シ
衆議院ガ二十一日アルカラ貴族院モ二十一日ニシナケレバナラスト、其方ヘ
持ッテ行カレルト云フコトハ、單純ナ理窟ノ上カラ云ヒマス、均衡論ラシク
見エマスケレドモ、實質カラ考ヘレバ均衡論ニナラス、一體之ヲ考ヘテ見マ
スルト、會期ト云フモノガ即チ審議期間デアル、會期ナルモノガ……三箇月
ノ議會ノ會期ト云フモノガ審議期間デアル、其審議期間ノ中ヘ又一ツノ審議
期間ヲ設ケルト云フコトハ、何カ特別ノ理由ガアッテソレガ出來ルノデ、即チ
衆議院ニ於テ審議期間ヲ設ケルト云フ事柄ハ、即チ衆議院ニ於テ先議權……
豫算ノ先議權、先キニ豫算ヲ議スルト云フ特別ノ理由ガアレバコソ、之ニ審
議期間ガ設ケラレルノデ、會期ト云フモノガ審議期間デアル、然ルニ先議權
ヲ有ッテ居ラス所ノ貴族院ガ、又其中ニ審議期間ヲ設ケル、會期ガ審議期間デ

アル其中ヘ又審議期間ヲ設ケル、屋上屋ヲ架スルト云フコトガアリマスルガ、
屋内屋ヲ造ルト云フヤウナ事柄ニナルノデアリマス、ソコデ此均衡論ト云フ
モノハ、ドウ云フ譯カ、會期全體ヲ通ジテ置キマシテ、ソレヲ兩分スルト斯
ウ云フコトデアリマスルナラバ、均衡論ハ立ツト私ハ思フ、ケレドモ、唯、
衆議院ガ二十一日ダカラ貴族院モ二十一日ニセナケレバナラスト云フ事柄
ハ、全ク私ハ其理由ヲ發見スルニ苦シム、衆議院ニ於テ二十一日ノ審議期間
ヲ設ケルノハ、即チ先議權ノ結果デアリマス、尙ホ玆ニ考ヘテ見ナケレバナ
ラスノハ、衆議院ト貴族院ハ同ジク立法府デアリマスケレドモ、各、審議ノ手
段、其他ニ於テ特色ヲ各、有ッテ居ルノデアリマス、此異ナタル特色ヲ有ッテ
居レバコソ、此二院制度ト云フモノノ妙用ガアル、ソコデ此豫算ヲ審議スル狀
態ヲ……實際ノ狀態ヲ考ヘテ見ナケレバナラス、ソレハ同ジヤウニ之ヲ考ヘ
ル譯ニハ行カヌノデアリマス、ソレヲ先ヅ考ヘテ置カナケレバナリマセスガ、
特ニ玆ニ考ヘテ置カナケレバナラス事柄ハ、豫算ト、豫算ニ伴フ所ノ法律案、
此關係ヲ少シ考ヘテ置カナケレバナラスト思フ、ソレカラ法律案ノ政府提出
ト云フモノニ對シテ、何等ノ拘束力ガアリマセヌカラ、政府ハ何時デモ法律
案ヲ議會ニ提出サレルノデアリマス、今コノ今日ノ情勢ヲ見マシテモダ、衆
議院ニ於テ尙ホ審議中ノモノモアリマセウ、ケレドモ、此會期切迫ノ際ニ於
キマシテ、ドシ／＼法律案ガ此貴族院ヘ累集シテ來ルノデアリマス、今現在
ニ於テドレダケ是カラ審議イタスベキ法律案ガアリマスルカ、私ハ詳シクハ
存ジマセヌケレドモ、或ハ五十、六十以上ノ法律案ガマダ停滯シテ居ルノデ
アリマス、豫算ニ伴フ所ノ法律案ハ特ニ又關係ガアリマスルガ、豫算ニ伴ハ
ナイ所ノ法律案モ澤山アルノデアリマス、是等、年末……長年、貴族院ノ會
期切迫ニ於ケル所ノ狀況デアル、會期ノ初メニ於キマシテハ法律案ハ無イ、
法律案ノ提出ハ少イ、會期ノ末ニ於キマシテ澤山法律案ガ累集シテ來ル、ソ
コデ尙ホ、玆デ一ツ考ヘテ戴カナケレバナラス事柄ハ、此豫算ニ伴フ所ノ法
律案、即チ豫算ノ結果ヲ待ッテ法律案ヲ決定セナケレバナラス事柄ト、法律案
ノ決定ヲ待ッテ豫算ヲ審議セナケレバナラス事柄ト、兩々相俟ッテ決定セナケ
レバナラス事柄ガアルノデアリマス、サウシテ衆議院ニ於キマシテハ、二十
一日ノ豫算審査期間ガ附イテ居リマスケレドモ、豫算ニ伴フ所ノ法律案ニハ
期間ガ附シテナイノデアリマス、例ヘバ稅制改正ノ法律案ノ如キ、或ハ關稅
改正ノ法律案ノ如キ、共ニ是ハ豫算ニ關係アル所ノ法律案デアリマス、併シ

衆議院ニ於キマシテハ、此法律案ハ審議期間ハ附シテナイノデアリマス、故ニ豫算ハ二十一日ノ審議期間ヲ以テ貴族院ヘ廻付サレマスルケレドモ、此豫算ニ伴フ所ノ法律案ハ、是ハ十分ナル衆議院ノ審議ヲ以テ廻付サレマスカラニ、現ニ豫算ガ貴族院ヘ廻付サレマシタト、殊ニ關稅改正ノ法律案ガ貴族院ヘ參リマシタト、十日以上ノ差ガソコニアルノデアリマス、或ハ衆議院ニ於キマシテ斯ウ云フ説ガアル、衆議院ハ下見ヲスル所デアアル、先議權ガアルト云フケレドモ下見ヲスルヤウナモノデアアル、ソレデ貴族院ハ其下見ヲ見テソコデヤルノダカラ早く出來ル、斯ウ云フ御説モアル、ソレハ一説デアリマセウ、併シ貴族院ハ衆議院デセラレタ事柄ニ對シテ跡始末ヲモナケレバナラヌ、豫算ヲ決定スル場合ニ於テ、ソレニ豫算ニ伴フ所ノ法律案ト相共ニ揃ヘテ、玆ニ結末ヲ著ケナケレバナラヌ、此跡始末ヲヤラナケレバナラヌト云フ運用ノ大切ナル所ヲ忘レタル議論ガ世間ニ往々ニシテ行ハレテ居ルノデアリマス、之ヲ又言換ヘテ申シマスルナラバ、豫算ノ方ハ二十一日デ衆議院カラ來、サウシテ貴族院モ二十一日ノ審議期間ヲ設ケルト云フコトニナルト致シマス、然ルニ法律案ハ……豫算ニ伴フ所ノ法律案ハ、衆議院ニ於テ審議期間ハアリマセスカラ、例ヘバ關稅法ノ改正ノ如キモ事實サウナツテ居リマス、左様ナ狀況デ、是ガ二十一日ガ三十日、四十日ト審議ガ成リマシテ、サウシテ豫算ヲ貴族院ヘ廻付サレル後ニナリマシテ是ガ出テ參リマス、貴族院ノ方ニ於キマシテハ豫算ノ審議期間ガ二十一日ニナツテ居ル、然ルニ法律案ヲ受取ル時ハ、十日カ或ハ十五日後ニ相成リマス、其法律案ハ自ラ審議期間ヲ決定サレタ形ニナル、是ハ法律上、明文ヲ存シマセスケレドモ、必然的結果ト致シマシテ、其豫算ニ伴フ所ノ法律案ハ、自ラ審議期間ヲ定メタト云フ結果ニナルノデアリマス、斯ウ云フ結果ニナルコトヲ考ヘマスカラバ、豫算ノ審議ヲ圓滑ニナラシムルト云フ上ニ、豫算ノ審議ヲ完成セシムルト云フ上ニ於キマシテハ、非常ニ困難ナ狀況ガ來ルノデアリマス、尙ホ其處ニ、先程申上ゲマシタヤウニ色々ノ法案ガ其處ヘ聚集シテ來ル、例ヘバ去年ノ狀況ヲ見マスカラバ、普通選舉ノ法案ガ三月ニ於テ審議セナケレバナラヌ、又貴族院改正ノ法律ハ矢張り三月ニ於テ之ヲヤラナケレバナラヌ、又此議院法ノ改正ノ如キモノモ出テ來タ、豫算ニ伴フ所ノ法律案モ其間ニ審議セナケレバナラヌト同時ニ、豫算ニ伴ハナイ所ノ法律案モ此三月ニナツテ非常ニ聚集シテ來ルノデアリマス、故ニ唯、二十一日ノ審議期間ガ衆議院ニアルガ故ニ、貴

族院モ二十一日ノ審議期間ヲ設ケナケレバナラヌ、ソレガ均衡論デアアル、此論ハ單純ナル議論デアリマシテ、此議會ノ實際ヲ究メタル、理ヲ究メタル所ノ、私ハ議論デナイト思フノデアリマス、或ハ此一事ヲ以テ貴族院改革ノ要諦デアルト云フ風ニ解サレテ居ル方ガアリマスルケレドモ、此運用論、此實際ノ有様カラ是ハ歸納シテ議論ト致シマシテハ、何等之ニハ關係ガ無イノデアリマス、如何ニモ此論ヲ以テ致シマスルナラバ、衆議院ガ二十一日デアアルノダカラ、貴族院ガ餘計持ッテ居ルノハ怪シカラヌデヤナイカト云フヤウナ議論ハ、多クノ人ニ分リ易イ議論ダケレドモ、ソレハ實際カラ歸納シタ所ノ論デハナイノデアリマス、然ルニ政府ハ去年御提出ニナリ、サウシテ是ガ院ノ意ノアル所ガ明瞭ニナツテ居ルモノヲ、再ビ強ヒテ之ヲ貴族院ヘ提出サレルト云フ、眞ノ理由ヲ解スルニ私ハ苦シムノミナラズ、唯今申上ゲマシタヤウナ均衡論カラハ、ドウシテモ之ヲ理解スルコトヲ得ナイ、又審議ヲ延期セシムルコトヲ以テ何時モ貴族院ガ政府ヲ脅カスノデアアル、斯ウ云フ風ニ言ハレル人ガアル、ケレドモ、審議期間ヲ短ク致シマシテモ、若シ玆ニ貴族院ノ權力ヲ、權限ヲ利用イタシマシテ、何等カ政府ヲ脅カス方法ヲ取ルト致シマスルナラバ、何モ此方法ヲ取ル必要ハ無イ、此方法ニ限ル必要ハ無イ、貴族院ノ權限ニ基イテ、幾多ノ自己ノ主張シ得ル所ノ手段方法ハアルノデアリマス、尙ホ之ヲ短ク致シマシタガ爲ニ、尙ホ一層政府當局トシテ御困リノ事情ガ起ルノデアリマス、多ク審議期間ヲ延バスト云フコトハ、政府ノ御要求ニ基イテ延期スル場合ガ多イノデアリマス、私ハ此點ニ付テモ十分理解スルコトヲ得ナイ、均衡論、圓滑論、豫算ノ審議ノ圓滑論、衆議院ト貴族院ト均衡論共ニ、俱ニ此實際議院ノ運用カラ歸納シタ所ノ私ハ結論デナイト思フノデアリマス、ソコデ唯今、政府委員ヨリ御説明ガアリマシタケレドモ、其説明デハ一向私ハ分ラナイ、故ニ概括的ニ尙ホ確平タル所ノ何カ御意見ガアルノカ、ソレヲ私ハ概括的ニ承リタイ、ケレドモ、ソレハ御答ヘニナルコトハ出來マスマイ、ソコデ私ハモウ一ツ具體的ニ御尋ネシテ見タイト思ヒマス、今マデ政府ノ法律案ノ御提出ハ、イツモ遅レルノデアリマス、モウ少シ議會ノ初メニ於テチャント備ヘテ、其議會ニ提出スベキ所ノ法律案ト云フガ如キモノハ、一切議會ノ開會前ニ於テ揃ヘテ置イテ、サウシテ早く御出シニナルト云フ事柄ノ方ガ、實際問題ニ於テ、豫算ノ審議等ニ於テ、圓滑ナラシムル所ヲ以テハナイカト思フノデアリマス、即チ法律案ト云フモノノ政府ノ提出ニ、或

ル一定ノ制限ヲ與ヘル所ノ法律案ガ必要デハナイカ、又左様ニ提出イタシマスル所ノ時期ニ於テ、政府ニ一ツノ拘束力ヲ與ヘルコトノ必要アリハシナイカ、左様ナコトヲ法律のニ拘束イタシマスルヨリモ、矢張り運用ノ上ニ於キマシテ、政府ノ意思、政府ノ實行ニ於テ、是ガ圓滑ニ行ハレルノチヤナイカ、何モ窮屈ニ法律ヲ以テ斯ク議會ノ權限ヲ、權限ニ附隨シテ來ル所ノモノヲ拘束シテ行クト云フヤウナ事柄ハ、果シテ議會ト云フモノヲ圓滑ナラシメル所以ナリヤ否ヤト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、ソコデ此質問ニ對シマシテ、政府ト致シマシテハ矢張り均衡論カ、或ハ豫算ヲ審議スルノニ圓滑論カ、孰レカ、サウ云フ抽象的ナ御答辯ダケシカ出來スト思フ、若シ其程度デアリマスナラバ、一ツ私ハ問題トシテ承ッテ置ク、本年ノ議會ニ於キマシテ、政府ヨリ提出サレタル所ノ法律案ハ幾ツアリマスカ、サウシテ現在通過イタシマシタ所ノ法律案ハ幾ツアリマスカ、衆議院ニ於キマシテハ幾ツノ法律案ガ停滯イタシテ居リマスカ、貴族院ガ是カラ審議イタシマス所ノ法律案ハ幾ツアリマスルカ、ソレヲ私ハ承ッテ置ケバ、大抵諸君ニ於カレマシテモ、私ノ質問ノ要旨ハ分ルダラウト思フノデアリマス、是デ私ノ質問ハ終リマス

〔政府委員山川端夫君演壇ニ登ル〕

○政府委員(山川端夫君) 此議院法ノ改正ハ、今池田男爵ノ御話ノヤウニ、極メテ重要ナモノデゴザイマス、從テ本日ハ、先程申上ゲタ通りニ、總理大臣カラ御紹介イタス筈ニナッテ居リマシタケレドモ、樞密院會議ニ出席スルコトニナリマシタ爲ニ、私ヨリ代ッテ申上ゲタノデゴザイマス、政府ハ此案ヲ輕ク取扱フト云フヤウナ考ハ毛頭ゴザイマセヌノデアリマス、ドウカ其點ハ宜シク御了承ヲ願ヒタイト考ヘテ居リマス、更ニ池田男爵ノ御尋ノ、本年更ニ改メテ此案ヲ提出シタ理由ト云フコトデゴザイマス、昨年、加藤内閣ニ於キマシテ此案ヲ極メテ必要ナコトト致シテ提案ヲ致シマシタノデゴザイマスルガ、其提案ノ理由ハ先程申上ゲマシタノト大體同ジコトデゴザイマス、ソレデ加藤内閣ニ於テ重要ナモノトシテ之ヲ提案イタシマシタノデゴザイマシテ、今年ニ於キマシテモ、今ノ内閣ニ於キマシテモ、其點ニ付キマシテハ、全然同ジ考ヲ持ッテ居リマス、昨年、此案ガ議會ヲ通過イタシマセナカッタノハ残念ト考ヘテ居リマスルガ、居リマスルカラ本年更ニ此案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、ソレデ本案提出ノ理由ハ先程申上ゲマシタ通りニ、豫算ノ審査ニ付キマシテ、貴族院ト衆議院トノ間ニ權衡ヲ得ルト云フコトガ

第一ノ理由デゴザイマス、豫算ノ審査ニ付キマシテハ、御承知ノ通りニ、先議權以外ニ於キマシテハ貴族院ト衆議院ト全ク同等デゴザイマス、從ヒマシテ此審査期間等ニ付キマシテモ、兩方……兩院同等ニ同ジヤウニ致スコトガ適當デアラウト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ豫算ノ審議ニ付キマシテハ、唯今池田男爵ノ御話ノヤウニ、豫算ニ伴フ法律案ノ審議ト云フモノガゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、從來ノ慣例ト致シマシテモ、豫算ノ審議ト法律案ノ審議トハ、互ニ相關聯シ、相伴ッテ審議サレルト云フコトガ通常デアリマス、無論、一二ノ例外ハアリマスケレドモ、大體ノ慣例ト致シマシテハ、此豫算案及法律案トハ相伴ッテ審議サレルト云フ實況デゴザイマスカラ、既ニ衆議院ニ於キマシテ、二十一日間ニ豫算及之ニ伴フ所ノ法律案ヲ大體ニ於テ審議シマス關係カラ見マスレバ、貴族院ニ於キマシテモ、同様ニ致スコトガ最も適當デヤナイカト考ヘルノデアリマス、尙ホ豫算及法律案ノ審議ニ付キマシテハ、此案ハ豫算委員會ノ審議期間ヲ定メタイト云フ案デゴザイマス、豫算ノ審議等ニ付キマシテ、更ニ必要デアリマスレバ、本會議ニ於キマシテモ十分慎重ニ御審議ニ相成ル機會モアルノデゴザイマス、サウ云フ關係カラ見マシテ、豫算委員會ニ於ケル審議期間ヲ衆議院ト同ジヤウニ定メルト云フコトガ、最も適當デアラウト云フ考カラ致シマシテ、此案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、更ニ池田男爵カラ、政府ガ法律案ヲ提出スルコトガ非常ニ遅レルカラ、アトデ貴族院ニ於テ法律案ガ輻輳シテ非常ニ實際ノ審議ニ困ルコトガアルヤウナ御話ガアリマシタ、此法律案ノ提出ノ遅レマスコトハ、如何ニモ我々モ遺憾ト考ヘテ、成ルベク速ニ提出スルト云フコトニ努メテ居ル次第デゴザイマス、併シ政府ニ於キマシテモ、豫算ノ決定等ニ伴ヒマシテ、色々此法律案ヲ思案イタシマスニ、豫算ノ關係ヲ見ル必要ガアリマス、又色々ノ都合デ常ニ遅レ勝ニナリマスコトハ、誠ニ遺憾ト思ヒマスガ、是等ハ將來共ニ十分實際ノ働キニ於キマシテ、此法律案ノ提出等ヲ成ルベク速カニスルト云フコトニ努メタイ考ヲ持ッテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ最後ニ池田男爵ノ御尋ノ、此議會ニ於テ政府ノ提出シタル法律案ノ數、貴族院衆議院ニ於テ審議中若クハ通過シタ法律案ノ數、サウ云フモノノ調査ノコトヲ御話ガアリマシタガ、是ハ唯今手許ニ持ッテ居リマセヌデゴザイマス、調査イタシマシテ、アトデ御知ラセテ致ス積リデアリマス

○男爵池田長康君 唯今、山川長官ヨリ御答辯ガアリマシタガ、實ハ總理大臣

又ハ國務大臣トシテノ御答辯ヲ要求スベキ性質ノモノデアリノデアリマスケ
レドモ、今日ハソレハ私ハ要求イタシマセヌ、唯、山川長官ノ事務的ノ上ニ
於キマシテノ事情ヲ御説明ニナリマシタ點ニ付キマシテハ、政府ノ御提案ニ
ナリマシタ理由ガ益、薄弱ナモノデアルト云フコトヲ私ハ認識セザルヲ得ナ
イ、ソレカラ最後ニ、今法律案ガ衆議院デトウナッテ居ルカ、貴族院デトウナッ
テ居ルカト云フ事柄ハ、私ハ敢テ御調査ノ御報告ヲ得ナクテモ、私自身ト致
シマシテモ取調ベルコトガ出來ルノデアリマス、寧ロ之ヲ皆様ノ前ニ公表セ
ラレルナラバ、此審議期間ヲ設ケルト云フ所以ガ、却テ總テノ事ヲ混雜ナラ
シムル所以デアルト云フコトガ、私ハ明カニナルデアラウト思ヒマシテ、政
府委員カラ御答辯ヲ煩ハシタラ結構デアラウト思ヒマシタノデスガ、唯今ソ
レガ御手許ニ無イト致シマスレバ、敢テソレハ御尋ネシナクテモ宜シウゴザ
イマス、是デ私ノ質問ハ終リマス

○子爵八條隆正君 本案ノ特別委員ハ十八名トシテ、議長ニ於テ指名セラレ
ムコトヲ望ミマス

○男爵阪谷芳郎君 賛成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 八條子爵ノ本案ノ特別委員ノ數ヲ十八名トシ議長
ニ指名ヲ任カスト云フ動議ニ、同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、書記官ヲシテ特別委員ノ氏名
ヲ朗讀イタサセマス

〔小林書記官朗讀〕

議院法中改正法律案特別委員

公爵 一條 實孝君	伯爵 松平 賴壽君	男爵 木越 安綱君
子爵 牧野 忠篤君	子爵 前田 利定君	子爵 裏松 友光君
荒川 義太郎君	河村 讓三郎君	若林 資藏君
男爵 福原 俊九君	男爵 池田 長康君	石渡 敏一君
高田 早苗君	鍋島 桂次郎君	松本 丞治君
佐竹 三吾君	尾崎 元次郎君	横山 章君

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公
債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、仙石鐵道大臣

東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵德川家達殿

東濃鐵道株式會社所屬新多治見廣見間鐵道買收ノ爲政府ハ該買收ニ必要ナ
ル額ヲ限度トシ公債ヲ發行スルコトヲ得

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

○國務大臣(仙石貢君) 今回買收セムトスル東濃鐵道會社ノ新多治見、廣見
間ノ鐵道デアリマスガ、是ハ政府ニ於テ目下建設中ノ國有鐵道多太線即チ多
治見、太田間ノ線路デアリマス、其線路ノ十分ノ六ニ該當スル部分ト其路線
ガ同一デアアルノデアリマス、故ニ政府ハ之ヲ買收シテ其路線ヲ利用シ、全線
ノ工事ノ進捗ヲ圖ルコトニ致シタイト思フノデアリマス、依テ是ガ買收費ニ
充當スル爲公債發行ノ法律案ヲ茲ニ提出シタ次第デアリマス、何卒、十分御
審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ望ミマス

○佐竹三吾君 此案ニ付テ二三御質問イタシタイトデアリマス、極メテ
簡單デアリマスカラ、此席カラ發言ヲ御許シ願ヒタイ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○佐竹三吾君 唯今鐵道大臣ノ御説明デ了解ノ出來マセヌ點ガ二三アルノデ
アリマス、其一ツハ、是ハ地方鐵道法ニ依ッテ強制的ニ買收サレルノデアリマ
スカ、或ハ任意ニ、會社ト協定ノ上ニ任意ニ買收サレルノデアリマスカ、其
點ガ一ツデアリマス、ソレカラ買收ニ依ッテ發行サレマスル公債ノ額ハ凡ソ
ドレ位ノ額デアリマスカ、極ク大體ノ數デ宜シウゴザイマス、公債ノ額ノ御
示シヲ願ヒタイトデアリマス、ソレカラ又買收サレル時期ガ何時デアリマス
カ、其時期ガ若シ定マツテ居リマスレバ、其時期ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス、
其三ツノ點ニ關聯シマシテ、實ハ地方鐵道法ノ中ニハ色々不備ノ點ガアルノ
デアリマシテ、之ヲ改正スル必要ヲ認メテ居リマスコトハ、獨リ民間ノ者バ
カリデハナイノデアリマシテ、政府ニ於テモ其必要ヲ認メラレテ居ルト心得

テ居ルノデス、所ガ此改正案ガ今日ニ至リマスル迄、未ダ議會ニ提案ニナラヌノデアリマスルガ、政府ハ此議會中ニ改正案ノ通過ヲ圖ルト云フ御考デアリマスルカ、或ハサウ云フ御考ガ無いノデアリマスカ、私ガソレヲ御伺ヒ致シマスルノハ、其改正案ノ通過サレマシタ曉ニ於キマシテハ、買收サレマスル鐵道ニ取ッテ重大ナル影響ガアルノデアリマス、此鐵道ガ何時買收サレマスカ、其時期ヲ伺フノモ其一ツノ理由デアアルノデアリマス、若シ地方鐵道法ノ改正案ガ此議會デ通過イタシマシタナラバ、其改正ノ結果ヲ第一ニ此鐵道ガ受クルコトニナルト思ヒマスガ、其點ニ付キマシテ鐵道大臣ノ御考ヲ一應承ッテ置キタイト思フノデアリマス

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 唯今、佐竹君ノ御質問ニ係ル公債ノ價額竝ニ其買收ノ時期等ニ付キマシテハ、目下其數字ヲ持ッテ居リマセスカラ、何レ調査ヲシマシテ後刻御返事ヲスルコトニ致シマス

○佐竹三吾君 私ハ唯買收ノ價額ダケヲ聽イタノデアリマスガ、其外ノ點ハ御説明ガナイノデアリマス、第一ハ是ハ強制ノ買收サレルノデアアルカ、或ハ任意ニ買收サレルノデアアルカト云フコトガ第一ノ質問デアリマス、ツレカラ買收サレルナラバ何時デアアルカ、其時期ガ何時デアアルカト云フコトガ第二ノ質問デアリマス、ソレカラ買收ノ公債發行ノ額ハ是ハ第三ノ質問デ、其中ノ一ツデアアルノデアリマス、其次ニハ、地方鐵道法改正ノ必要ハ鐵道大臣自身モ御認メニナッテ居ル、其改正案ガ今日ニ至ルマデ未ダ議會ニ御提案ニナラヌノデアリマスガ、政府ハ果シテ其改正案ヲ此議會中ニ是非通過サセル御見込デアアルノデアリマスカ、或ハサウ云フ御考ハ無いノデアリマスカ、其點ヲ御伺ヒ致シタノデアリマスガ、唯今ノ御答辯ハタッタ其中ノ一ツダケニ付テノ御答辯デ、肝腎ノコトハサッパリ御答ガ無いノデアリマス

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 佐竹君ニ御答ヘシマス、此買收ハ強制買收デアリマス、ソレカラ價額ハ凡ソ六十萬圓、時期ハ此議會ガ濟ミマシタラ成ルベク早ク著手シヤウト思ヒマスガ、ソレヲ御答ヘ申上ゲテ置キマス

○佐竹三吾君 私ハモウ一ツ質問ヲ致シタノデアリマスガ、ソレハ地方鐵道法ヲ改正サレル意ガ政府ニアリマスカ、既ニ其案ハ相當ノ程度マデ進行イタシテ居ルト承知イタシテ居ル、併ナガラ未ダニ議會ニ御提案ニナラヌノデア

リマス、若シ是ガ強制買收デアアルナラバ、其買收ノ結果、地方鐵道法ノ適用ヲ受ケマスル上ニ於テ、改正案ガ通過スルト否トハ、重大ナ茲ニ差違ヲ生ズルノデアリマスガ、其點ニ付キマシテ鐵道大臣ノ御考ヲ承リタイ、即チ地方鐵道法ノ改正案ハ、鐵道省ヲ離レタコトハ既ニ昨年デアリマス、他ノ關係省ノ意見モ既ニ濟ミマシテ、モウ疾クニ議會ニ御提案ニナルベキコトニナッテ居ルト思ヒマスガ、未ダニ議會ニ御提案ニナラヌノデアリマスガ、其點ニ付キマシテモ鐵道大臣ノ御考ヲ承リタイト思ッテ居リマス

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 地方鐵道ノ改正ハ目下協議中デアリマシテ、何時之ヲ提出スルト云フコトハ、今ノ所明言ガ出來ナイノデアリマス

○佐竹三吾君 唯今ノ御答辯デ大體ハ分ッタノデアリマスガ、ソレデハ既ニ鐵道省、或ハ大藏省等ノ御調べモ濟ンダト聞イテ居ルノデアリマス、未ダニ議會ニ御出シニナラヌ所ヲ見マスルト、サウスルト、此議會ニハ御提案ニナラヌコトニナルノデアリマスガ、或ハ御提案ニナル御方針デ今御進メヲサレツツアルノデアリマスガ、此點ニ付テモウ一應鐵道大臣ノ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 御答ヲ致シマス、地方鐵道ノ改正ハ目下大イニ急イデ居ル次第デアリマシテ、成ルベク此議會ニ提出シタイト云フ考デアリマス

○阪本鈺之助君 チョット承ッテ置キタイト思フノデアリマスガ、此鐵道ハ東濃鐵道ノ一部ノヤウデアリマスガ、大部分ノ即チ岐阜カラ發スル所ノ本線ハ、矢張り是ガ一ツノ前提トナリマシテ、將來、國有ニ御移シニナル御意思ガアルノデアリマスガ、或ハ是ハ政府線トノ關係上、是非買ハナケレバナラヌノデアアルケレドモ、其他ノ東濃鐵道ノ線路ト云フモノハ、政府ハ御買上ゲニナルト云フ御意思ハ將來ニ於テモ御持チニナラヌノデアリマスガ、此二點ヲ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 阪本サンニ御答ヲ申シマスガ、全部ノ中ノ或ル部分ヲ、此鐵道ニ沿ウタ所ヲ買ヒマシテ、アトノ私設鐵道ハ、其會社自ラ經營スルコトニナッテ居リマス

○阪本鈺之助君 モウ一ツ伺ヒマス、此東濃鐵道ノ岐阜ヲ發シマスル所ノ或ル部分ハ、政府線ノ高山ニ通ズル線路ト稍「ダブ」ル所モアルヤウデアリマ

スガ、是等ハ別ニ御斟酌ニナラズニ、將來モ民有ニ御任ニセナッテ行クト云フ御考デアルト、唯今デハ受取リマシテ宜シウゴザイマスカ

〔國務大臣仙石貢君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(仙石貢君) 御答へ致シマス、是ハ目下買收スル考ハアリマセスノデアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ハ日程第四ノ議案ノ特別委員ニ付託イタシマス、休憩ヲ致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時四十二分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

健康保險法中改正法律案可決報告書

健康保險特別會計法案可決報告書

本日請願委員長ヨリ土田萬助君ヲ第一分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ付キ御諮リヲ致シマス、男爵村上敬次郎君病氣ニ付キ會期中ノ請暇ノ申出ガゴザイマシタ、之ヲ許スコトニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第七、商事調停法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

商事調停法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵德川家達殿

商事調停法

第一條 商事ニ關シ爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ相手方ノ住所、居所、

營業所若ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定リタル地方裁判所若ハ區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

調停ノ申立ヲ受ケタル裁判所調停ヲ爲スニ付相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ地方裁判所又ハ區裁判所ニ移送スルコトヲ得管轄權ナキ裁判所力調停ノ申立ヲ受ケタルトキ亦同シ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二條 商事調停ニ關シテハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外借地借家調停法ヲ準用ス

第三條 裁判所調停ヲ爲スニ付必要アリト認ムルトキハ計算人ヲ選定シ之ヲシテ計算ヲ爲サシムルコトヲ得

調停委員會ヲ開キタル場合ニ於テハ前項ニ規定スル裁判所ノ權限ハ調停委員會ニ屬ス

計算人ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 調停委員會ハ當事者ノ合意アル場合ニ於テハ第一條ノ爭議ニ付民事訴訟法ニ依ル仲裁判斷ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當事者ノ指定シタル調停委員會ノ屬スル裁判所ハ申立ニ因リ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

第五條 借地借家調停法第十八條及第二十九條乃至第三十一條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル仲裁ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

當事者ノ一方ニシテ本法施行地區内ニ住所、居所、營業所又ハ事務所ヲ有スル者ニ對シ調停ノ申立ヲ爲シ得ヘキ事件ニ付テハ其ノ相手方ノ住所、居所、營業所及事務所カ本法施行地區外ニ在ル場合ト雖之ニ對シ其ノ住所、居所、營業所又ハ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 商事ノ取引ニ關スル紛争ヲ、訴訟及之ニ對シマスル所ノ裁判ニ依リマシテ解決ヲ致サント致シマスレバ、其解決ニ多クノ費用ト日子トヲ要スルバカリデアリマセズ、爾後ノ取引ノ上ニモ好マシカラザル結果ヲ遺スノ虞レガナイト致シマセズ、從ヒマシテ、此種ノ紛争ハ寧ロ調停ニ依リマシテ簡易迅速ニ之ヲ解決イタシ、爾後ノ取引ヲ圓滿ニ繼續セシムルコトヲ圖ルノガ最モ得策デアルト認ムルノデアリマス、本商事調停法案ハ、商事ニ關スル紛争ヲ調停ニ依リ解決セムトスルモノデアリマシテ、本案ニ依リマスレバ、裁判所又ハ調停委員會ガ調停ノ任ニ當ルモノデアリマシテ、調停委員會ハ、判事カラ指定セラレマシタル所ノ調停主任及民間ヨリ選任イタサレマシタル所ノ調停委員カラ組織セラレマスル所ノ合議體デアリマス、調停ノ當事者ノ合意ニ依リテ成立イタスモノデゴザイマシテ、裁判所ノ爲シタル調停ハ直チニ、又調停委員會ノ爲シマシタル所ノ調停ハ裁判所ノ認可決定ニ依リマシテ、確定判決ト同一ノ效力ヲ有スルモノデゴザイマス、之ヲ要シマスルニ、今後益々複雑トナリツツアリマス所ノ商事取引ノ紛争ヲ圓滿且ツ迅速ニ解決スルニハ、裁判ト相俟ツテ調停ノ手續ヲ採用スルヲ最モ必要ト認メマシテ、本案ヲ提出イタシタル次第デゴザイマス、御審議ノ上、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

商事調停法案特別委員

侯爵 中御門 經 恭君 子爵 鍋島 直 繩君 子爵 板倉 勝 憲君
土 方 寧君 男爵 二條 正 麿君 藤 田 四 郎君

森 本 善 七君 田 村 新 吉君 田 村 駒 治郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第八、大正十四年法律第三十五號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

大正十四年法律第三十五號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕 谷 義 三

貴族院議長公爵德川家達殿

大正十四年法律第三十五號中左ノ通改正ス

第一項中「大正十五年九月三十日」ヲ「大正十六年九月三十日」ニ改ム

參照

日本銀行ノ手形割引ニ因ル損失ノ補償ニ關スル法律 大正十四年三月法律第三十五號

政府ハ日本銀行カ大正十二年勅令第四百二十四號第一項第四號ニ該當スル手形ニシテ大正十四年十月一日ヨリ大正十五年九月三十日迄ノ間ニ於ケル満期日ヲ有スルモノノ割引ヲ爲シ之ニ因リテ損失ヲ受ケタル場合ニ於テ同行ニ對シ其損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項補償金額ハ大正十二年勅令第四百二十四號ニ依リ補償金額ト合シテ一億圓ヲ超ユルコトヲ得ス

日本銀行ハ本法ニ依リテ爲ス手形ノ割引ニ付政府ノ監督ヲ受クヘシ

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 大正十二年九月大震災直後ノ施設ト致シマシテ、大正十二年勅令四百二十四號ニ依リマシテ、震災手形ニ對シ日本銀行ヲシテ特別融通ヲ爲サシムル制度ガ設ケラレマシタ、而シテ其特別融通ノ期間ヲ大正十四年九月三十日迄ト定メラレマシタガ、其後大正十四年法律第三十五號ヲ以テ更ニ一年間延長イタシマシテ、大正十五年九月三十日迄ト改定セラレ

マシタ、ソレガ現行法デアリマス、然ルニ震災ガ原因トナツテ居リマスル財
界ノ創痍ハ豫想以上ニ甚シク、其整理恢復ハ漸次ニ進捗シテ居リマスケレド
モ、現状ニ於キマシテハ尙ホ不十分デアルト云フコトヲ免レナイノデアリマ
ス、從テ現行法ニ規定シテアリマス融通期間デハ、震災手形ノ債務者デア
ル商工業者中ニ、其債務ヲ完済シ得ナイモノモアリマスルシ、又震災手形ヲ割
引イタシマシタ一般銀行中ニモ、尙ホ金融疏通ノ爲ニ、震災手形ニ對シマス
ル特別融通ヲ必要トスルモノモアルノデアリマス、左様ナ次第デアリマス
デ、現下ノ經濟界ノ趨勢及震災ニ依リマスル損害ノ復舊狀態ニ鑑ミマシテ、
現行法及勅令ノ趣旨ヲ達成セシメマスルガ爲ニ、大正十四年法律第三十五號
ニ規定シテアリマスル特別融通ノ期間ヲ更ニ一年延長イタシマシテ、之ヲ大
正十六年九月三十日迄ト致シタイノデアリマス、慎重御審議ノ上、速ニ御協
賛ヲ與ヘラレムコトヲ……

○議長(公卿德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサ
セマス

〔成瀬書記官朗讀〕

大正十四年法律第三十五號中改正法律案特別委員

侯爵 大隈 信常君	子爵 本多 忠鋒君	子爵 綾小路 護君
淺田 德則君	男爵 藤田 平太郎君	片岡 直輝君
馬越 恭平君	吉野 周太郎君	高廣 次平君

○議長(公卿德川家達君) 日程第九、輸出生絲檢查法案、政府提出、衆議院
送付、第一讀會

輸出生絲檢查法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十五年三月十五日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公卿德川家達殿

輸出生絲檢查法

第一條 生絲ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ正量ニ付國ノ生絲檢查所ノ檢查

ヲ受ケタルモノニ非サレハ之ヲ輸出スルコトヲ得ス
主務大臣必要アリト認ムルトキハ公共團體ノ設クル生絲檢查所ヲシテ前
項ノ檢查ヲ爲サシムルコトヲ得

第二條 生絲ハ前條ノ檢查ニ依ル正量ニ依ルニ非サレハ輸出ノ目的ヲ以テ
其ノ賣買取引ヲ爲スコトヲ得ス

輸出ヲ業トスル者ノ主務大臣ノ指定スル地ニ於テ買入ノ爲ニ爲ス生絲ノ
賣買取引ハ之ヲ輸出ノ目的ヲ以テ爲スモノト看做ス

第三條 主務大臣特別ノ事情ニ依リ前二條ノ規定ヲ適用スル必要ナシト認
ムル場合ハ命令ヲ以テ其ノ適用ヲ除外スルコトヲ得

第四條 當該官吏取締上必要アリト認ムルトキハ店舗、倉庫其ノ他ノ場所
ニ臨檢シ業務ノ狀況及帳簿、生絲其ノ他ノ物件ヲ檢查スルコトヲ得此ノ
場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携帯スヘシ

第五條 第一條及第二條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六條 正當ノ理由ナクシテ當該官吏ノ臨檢檢查ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ
又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓
以下ノ罰金ニ處ス

第七條 生絲ヲ輸出シ又ハ輸出ノ目的ヲ以テ生絲ノ賣買取引ヲ爲ス者ハ其
ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者カ本法若ハ本法ニ
基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指
揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ生絲ヲ輸出シ又ハ輸出ノ
目的ヲ以テ生絲ノ賣買取引ヲ爲ス者ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ者カ法人ナ
ルトキハ理事、取締役其他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ
禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者
ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
生絲検査所法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ノ賣買契約ニ因ル生絲ノ受渡及其ノ生絲ノ輸出ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用セサルコトヲ得輸出ヲ業トスル者カ本法施行前輸出ノ目的ヲ以テ買入ヲ了シ又ハ輸出ノ委託ヲ受ケタル生絲ノ輸出ニ付亦同シ

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 輸出生絲検査法案ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ説明ヲ致シマス、生絲ノ取引ヲ正量取引ニ致スコトハ、本邦生絲ノ聲價ヲ高メ、且ツ賣買ヲ公正ニ致シマシテ、生絲取引ノ圓滑ヲ圖ル上ニ於テ、極メテ緊要ノコトデアリマス、之ガ實施ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテモ夙ニ其必要ヲ認メマシテ、内外ノ關係當業者モ亦多年之ヲ切望イタシテ居リマシテ、當業者ノ間ニ於キマシテハ、明治三十二年以來、或ハ内地ニ於テ、或ハ國際間ニ於テ、屢々其實行方法ヲ協議イタシタコトガアッタノデアリマスルガ、何分、正量検査ヲ實行スベキ設備ガ出來ナカッタ爲ニ、其實行ガ不可能トナッテ居ッタノデアリマス、然ルニ幸ニ曩ニ議會ノ協賛ヲ經マシテ、國ノ生絲検査所ヲ擴張スルコトナリ、其擴張工事モ本年度内ニハ落成ノ豫定デアリマシテ、正量検査ノ設備モ出來上ルコト相成ルノデアリマスルノデ、愈々來年度ヨリ正量取引ヲ實行スル方針デ、之ニ屬スル經費モ來年度ノ豫算ノ中ニモ計上シテアリマスル次第デアリマス、而シテ正量取引ノ實行ニ付キマシテハ、検査及之ニ伴フ取締ニ關シマシテ、法律ヲ制定スル必要ガアリマスルカラ、茲ニ本法案ヲ提出イタシマシタル次第デアリマス、何卒慎重御審議ノ上、速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

〔今井五介君演壇ニ登ル〕

○今井五介君 會期切迫ノ折柄、大切ノ時間ヲ費スコトハ甚ダ恐縮デアリマスルガ、自分ノ關係スル業ニ關聯セル問題ノ爲ニ、一言述べテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ點モアルノデ、此壇ニ立ッタ次第デアリマス、唯今大臣ノ御説明ニ依リマシテモ、本案ノ意味ハ、永イ間ノ懸案ニ致シマシテ、國內ニ於ケル當業者ノ折衝ハ勿論、日米間ニ於ケル所ノ當業者ノ間ニ數回ノ折衝ヲ重ネ

マシテ、此本案ノ如キ事ヲ一日モ早ク實行スルコトヲ希望シテ已マナシタノデアリマス、幸ニ大臣ノ御述べノ如ク、生絲検査所ノ擴張モ茲ニ成リ、今ヤ新シキ検査所ニ於テ此問題ヲ實行シ得ルノ機會ヲ得マシタコトハ、我が蠶絲業界ノ最モ喜ブベキコト、又亞米利加ノ當業者モ定メシ満足ノ意ヲ表スルコトト、私ハ衷心喜ビニ堪ヘナイノデゴザイマス、本案ガ衆議院ノ希望條件附ニテ通過イタシマシテ、本日茲ニ上程サレタノデ、本家中ニ付テ、或ハ多少我々蠶絲業者ノ意ニ滿タナイ、期待ニ副ハナイ點ガアルカモ測リ難ナイノデアリマスガ、是ハ已ムヲ得ザルコトデ、御互ニ忍ブト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、惟フニ本案ノ實施ハ我が蠶絲業界ノ一大革新、維新トモ申スベキモノデアリマス、サリナガラ單ニ之ニ依ッテ我が蠶絲業界ノ目的ヲ達成スルコト云フコトハ望マレナイノデアリマス、更ニ進ンデ他ニ幾多ノ施設ヲ必要ト考ヘラレルノデアリマス、由來、我國ノ蠶絲業ハ、畏多クモ上、皇室ニ於ケレマシテ、皇后陛下御手ヅカラ御養蠶ヲ遊バシ、又下、官民一致協力以テ御趣意ニ副フベク努力ヲ致シマシテ、今日ノ如ク達成ヲ致シタト、私ハ衷心ヨリ喜ブ次第デアリマス、更ニ我が蠶絲業界ノ上ニ於キマシテハ、指導獎勵ノ點ニ至リマシテハ至レリ盡セリデアリマセウ、併ナガラ我國ノ蠶絲業ノ偉大ナル發展ヲナシタル蠶絲業界ノ行政機關ノ上ニ於テハ、聊カ足りナイ感じモ持ツノデアリマシテ、我々蠶絲業界ニ從事スル者ノ希望ト致シマシテハ、今日ノ蠶絲業界行政機關ヲ昇格イタシマシテ、蠶絲局ノ設置ヲ熱望シテ已マナシタノデアリマス、併ナガラ不幸ニシテ其目的ヲ達スルコトガ出來ナシタノハ遺憾トスル所デアリマス、サリナガラ此蠶絲業界ノ行政機關ノ不備トハ申シナガラ、能ク我が蠶絲業界ヲ指導サレタコト云フコトハ、我々人トモニ感謝スル次第デアリマス、然ルニモ拘ハラズ、我が蠶絲業界ニ從事スル者ガ各、孤立イタシマシテ、相互ニ利害ノ上ニ於テ他ヲ陷レムトスルヤウナ傾向ガ見エルノデ、誠ニ遺憾ヲ感ズルノデ、是等ノ缺點ヲ補フノニハ、ドウ致シマシテモ統一的我ガ蠶絲業界ヲ進メナケレバナラス、然ルニ御互ニ我田引水、自己アッテ我が蠶絲業界ヲ知ラザルト云フヤウナ譏リヲ往々耳ニスルノデ、私モ此業ニ從事シテ居ルガ爲ニ、甚ダ慚愧ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス、我國ノ蠶絲業ガ今日ノ如ク發展シタルコトハ、全ク異數ナノデアリマス、此大勢ヲ遠キ將來ニ齎ラシ得ルヤ否ヤト云フコトハ、私ハ疑問ト致スノデアリマス、茲ニ改メテ申ス迄モナク、斯業ニ對シテハ、爲政者ト云ハズ、我々蠶絲業界

ニ直接、間接、關係スル者トヲ論ゼズ、益、將來ノ發展ヲ講ズルコトニ努メテハ居リマスルガ、如何セン、我が蠶絲業者ノ前途ニ測ラザル所ノ難關ガ節々起ルノデアリマス、昨今、橫濱ノ市場ニ於ケル生絲ノ慘落ハ如何デアリマセウカ、十四年度ニ於ケル最高最低ノ點ヨリ考ヘマスルト、百斤ニ付テ四百圓ノ、茲ニ暴落ヲ來シタノデアリマス、此暴落ノ爲ニ我が蠶絲業界ニ從事スル養蠶家ト云ハズ、種屋ト云ハズ、製絲家ト云ハズ、金融業者ト云ハズ、實ニ一ノ悲哀ヲ感ズルノデ、殆ド其歸スル所ヲ知ラザル有様デアアル、此慘落ノ原因ハ一ニシテ足ラナイノデアアル、幾多ノ原因ハ有ルノデアリマスルノガ、最モ其最近ニ於ケル所ノ原因ハ、御承知ノ爲替ノ反撥デアリマス、是ハ國家ニ取ッテ最モ喜ブベキコトデ、斯クナクテハ我國ハナラナイノデアアル、此反撥ハ喜ブベキコトデアリマスルガ、反撥ニ反シテ慘落ガ伴フノデアリマス、即チ爲替ノ不安定デアリマス、是ガ最近ニ於ケル生絲ノ暴落ノ一大原因ニナッタト考ヘテ居ルノデアリマス、又縱シ、此原因ガソコニアリマシタト致シマシテモ、蠶絲業界ノ力ガ充實イタシマシテ、此動搖ニ對スル維持力ニ富ンデ居ッタナラバ、決シテ斯ノ如キ悲惨ナル所ノ相場ヲ私ハ見ナンダト思フノデアリマス、是即チ實力ノ我が蠶絲業界ノ發展ニ伴ハナイ一大原因デアルト思フノデアリマス、斯ノ如キ暴落ハ單リ我國ノ蠶絲業ノ上ニ悲ムベキノミナラズ、米國ニ於ケル所ノ機業家ノ迷惑ハヨリ以上ノコトト私ハ察スルノデアリマス、元來、我國ノ蠶絲業ノ橫濱ニ於ケル相場ノ暴騰暴落ハ、全ク不自然デアリマス、何等、由ッテ來ル所ガナイ相場ガ節々現ハレルノデアリマス、斯ノ如キ最モ、我國ニ一ニ數ヘテ二ツト無イ所ノ大切ナル蠶絲業ノ相場ガ朝、夕ヲ計ラレザルト云フヤウナコトハ、全ク我が蠶絲業界ノ爲、我が國家ノ爲ニ惜ム次第デアリマス、今日ノ如キ暴落ガ需要供給ノ點ヨリ起ッタナラバ、是ハ已ムヲ得ザルコトデアリマスルガ、彼ノ國ニ於ケル、即チ米國ニ於ケル有様ハ何等橫濱ニ大暴落ヲ來ス如キ大ナル經濟界ノ惡材料ハ見出スコトガ出來ナイ、唯、橫濱ニ於テ自カラ斯ノ如キ相場ヲ不自然ニ拵ヘルノデアアル、橫濱相場ニシテ米國ノ相場デナイノデアアル、斯ルコトガ段々米國ノ機業家ニ嫌ラザルニ至ルガ爲ニ、大切ナル所ノ得意ハ他ノ國ニ向ヒハセスカト云フコトヲ心配スルノデアアル、米國ノ機業者ハ日本ノ生絲ニ依ッテ營業ヲ營ムコトハ、今日ノ場合已ムヲ得ズトシテモ、將來之ニ依ッテ營業ヲ安如トシテ營ムコトガ出來ナイ、何レカノ方面ニ販路ヲ……供給者ヲ求メナケレバナラヌト云フコトヲ口ニ唱ヘ

ルバカリデナク、支那ニ向ッテモ其方針ヲ多少トモ實行シツツアルノデアリマス、獨リ支那ノ蠶絲ノミデナイノデアアル、斯ノ如キ不安ナ生絲ニ依ッテ營業ヲ營ムヨリハ、寧ロ安全ニシテ業ノ安固ヲ求メ得ラレル所ノ人造絹絲ヲ、我が生絲ノ代用ニ使用スルニ如カズト云フ議論モ起ッテ居ルノデアリマス、全然、我國ノ生絲ヲ使用シナイト云フコトハ出來ナイノデアアル、混織ヲシテ成ルベク生絲ヲ避ケケヤウト云フコトヲ口ニスル人モアルノデアリマス、斯ノ如キコトガ我國ノ得意ナル米國ノ機業家ノ中ニ益、宣傳サルルニ至ラバ、由々シキ大事デアアル、我々蠶絲業者ハ茲ニ於テ此對策ヲ今ニシテ講ゼザレバ、大ナル悔ヲ後ニ遺スコトガアリハセスカト言ウテ互ニ心配スル次第デアリマス、然ラバ如何ナルコトヲスレバ是等ノ缺點ヲ阻止シ得ルヤ、是ハ幾多ノ施設モ要シマスルガ、要スルニ、實力ヲ養フニ如カズ、即チ金融ノ便ヲ與ヘ、持久ノ途ヲ或ル程度マデ講ジナケレバナラヌノデアリマス、併ナガラ自然ノ相場ガ需要供給ノ點ヨリ來ッタ場合ハ、是ハ決シテ賣惜ミ、持久ヲスルト云フコトハ不自然デアリマスガ、全ク暴落ノ原因ガ需要供給ノ點ヨリ來ラザル場合ニ於キマシテハ、或ル程度迄ハ互ニ持久ヲ必要トスルノデアリマス、此持久ヲ全ウスルニ於テハ金融ノ途ヲ開カナケレバナラヌ、此途ニ依ッテ或ル程度迄之ヲ挽回シ得ルコトハ出來得ルモノト思フノデアリマス、御承知ノ如ク我が國ノ蠶絲業ノ營業ノ狀態ハ、年度ノ終リニ於テ打切ルト云フヤウナ習慣ガ今ニ殘ッテ居ルノデアリマス、十四年度ノ產額ハ此十五年ノ五月迄ニ藏拂ヒラシテシマハナケレバナラヌ、又金融ヲ受ケタ者モ此新舊蠶絲業ノ端境期ニ於テ全部皆濟ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ、全ク他ニ見ラレナイ所ノ金融ノ狀態デアリマス、然ルニ半面ニ於キマシテハ、蠶絲業ノ發展ガ此金融ト一致シナイノデアアル、端境期ニ打切ルト云フコトガ、此今日ノ暴落ノ原因ヲ益、深カラシムル所以デアラウトモ思フノデアリマス、今日ノ如キ蠶絲業ノ發展ヲ致シタル場合ニ於テハ、決シテ此事業ヲ打切ルベキモノデハナイ、金融モ決シテ打切ルベキモノデハナイ、繼續ノ二業ヲ營ムノ方針ヲ立テナケレバナラヌノデアアル、私ハ紡績業……綿紡績業ト決シテ違ハナイト思フノデアリマス、此點ガ我が蠶絲業ノ金融ノ上ニ甚ダ遺憾トスル點デアラウト思フノデアリマス、茲ニ私ハ如何ニ我が國ノ蠶絲業ノ偉大デアアルカト云フコトヲ數字デ御迷惑様デモ紹介イタシマス、生絲ノ輸出高ガ大正十四年度ノ八億七千九百四十九萬九千、絹織物ガ一億一千六百九十八萬アル、屑物ガ約四千萬圓、之

ヲ合スレバ十億餘ニ達スルノデアリマス、斯ノ如キ異數ノ發達ヲシタニモ拘ラズ、之ニ伴フ所ノ實力ガ甚ダ副ハナイノデアリマス、故ニ投資モ致シマス、勢ヒ拾賣ヲシナケレバナラヌト云フコトニ至ルノデ、是ハ單リ營業者ノ損耗、製絲業ニ從事スル者ノ損ニ歸スルバカリデナイ、是ハ轉嫁シテ養蠶家ニ及ブト云フコトヲ私ハ甚ダ憂フルノデアアル、纖維工業トシテ輸入ノ主ナルモノハ羊毛ノ類モアリマスルガ、私ハ棉花ニ付テ對照シテ見タイト思フ、大正十四年度ガ棉花ノ輸入ガ九億二千三百餘萬圓、綿製品、綿布、綿絲ノ輸出ガ五億九千三百餘萬圓、此數字カラ見マスルト、我國ノ二百萬ノ養蠶家ガ、是ガ努力ヲシテ晝夜兼行デ十億以上ノ偉大ナル輸出ヲ致ス所ノ生絲モ、棉花ノ輸入ニ依ッテ差引カレレバ、殘ル所幾許デアルカ、誠ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、綿布綿絲ノ輸出ガ約六億デアリマス、此加工賃ハ十分ニ見マシテ四割デアリマス、サウ致スト云フト六億ニ對シテ二億四千萬圓ノ加工賃ヲ得ルニ過ギナイノデアリマス、之ヲ差引イテ輸出サレ得ル所ノ原料ヲ約三億五千萬圓、差引ケバ我國ニ於テ使用スル所ノ棉花ハ五億七千三百萬圓見當リ我が國民ガ使用スルノデアアル、實ニ我が國ノ生活ガ向上イタシマシタ結果トハ申シナガラ、棉花ノ使用ガ如何ニモ多イノハ、是ハ恐ラクハ、我が國民ガ、綿布類ト云フモノハ是ハ日用品デアッテ、必需品デアッテ、安イト云フ習慣ニ因ハレテ粗末ニスルノ結果デハナイカト私ハ思フ、私ハ寧ろ生絲ヨリ貴イト云フ觀念ヲ持タセナケレバナラナイノデアアル、私ニ言ハシムレバ、我生絲ヲ、我國民ガモウ少シク考ヘテ、實用的ニ用井タナラバ、棉花ノ輸入ヲ或ル程度マデ防グコトガ出來ハセヌカト思フ、生絲ニ依ッテ我國ノ纖維工業ヲ獨立シテ行クコトハ容易デアラウト思フノデアリマス、又我が國ノ習慣トシテ、生絲ハ最も貴イモノデアアル、絹布ハ大切ナモノデアアルト云フコトニ因ハレテ、生絲ヨリ高イ所ノ綿布類ヲ纏ウテ居ルコロノ場合モアルノデアアル、是等ハ全ク我が國ノ國民ノ頭ヲ少シク改造シナケレバ、如何ニ我々ノ大切ナル生絲ヲシテ盛ンナラシメテモ、此爲ニ何等得ル所ガナイト云フヤウナ結果ヲ齎ラスコトヲ私ハ遺憾トスルノデアリマス、我國ニ於キマシテモ、最近人造絹絲ノ流行スルコト、又人造絹絲ノ製造會社ノ勃興ハ著シキモノデアリマシテ、是等ハ全ク我が生絲ノ敵デナイト斯ウ云フコトヲ言ヒ得ルカモ知レマセヌガ、私ハ品質ニ於テハ敵デナイガ、其價ニ於テハ最も恐ルベキ所ノ大敵デアルト私ハ信ズルノデアアル、ソレガ證據ニハ、生絲ノ價が高イ時ニハ、人造絹絲ガ多ク

用非ラレル、生絲ノ價ガ下ガレバ人造絹絲ノ方ガ、驅逐サレルトハ申シマセヌガ、需要ガ減ル、價ニ於テ相敵シテ居ルノデアアル、此ノ人造絹絲ニ對スル、我が蠶絲業ニ從事スル者ハ覺悟ヲセネバナラヌト思フノデアリマス、之ヲ自然ニ任セテ置クニ至レバ、我が蠶絲業ノ根柢ヲ危クスルト云フコトハ、私ノ申スマデモナイコデアリマス、此人造絹絲ニ對抗スルニハ、生産費ヲ安クスル、良キモノヲ澤山拵ヘル、所謂廉價良品、廉價多賣主義ヲ採ルヨリ仕方ガナイト思フ、此事ハ私ハ決シテ望ンデ得ラナイコトデナイノデ、出來得ルト私ハ信ズルノデアリマス、誠ニ横道ニ這入りマシテ、御迷惑ナコトヲ御耳ニ入レテ恐縮ニ堪ヘナイ、要スルニ、私ハ斯様ナコトヲ伺ッテ置キタイト思フノデス、我國ノ蠶絲業ノ……蠶絲ノ生産費ヲ安カラシムルニハ、政府トシテ如何ナル御考ヲ御持チニナルカ、其邊ヲ御漏シシテ戴ケバ誠ニ仕合セデアアル、第二ニ、衆議院ニ於キマシテ、本案ニ希望條件ヲ附ケテ可決サレタノデアアル、即チ金融問題デアリマス、定メシ此希望條件ニハ政府モ御同意ノコトト信ジテ疑ハナイノデアリマス、其方法竝ニ程度ヲ伺フコトヲ得マスレバ、誠ニ幸デアリマスルガ、是ハ直チニ伺フコトハ如何デアラウカト、私ハ御尋ネスル上ニ於テモ、其點ハ躊躇スル次第デアリマス、第三ハ、我々ガ多年、蠶絲業行政ノ擴張ヲ叫ンダノデ、決シテ今日ノ機關ヲ御不足ヲ申スノデハナイガ、我が蠶絲業ノ發展ニ伴ハナイト云フ虞レガアルノデアリマス、故ニ蠶絲局ノ設置ヲ今日マデ屢々叫ンダノデアリマスルガ、現政府ニ於キマシテモ、行政財政ノ整理中デアッテ、餘裕ガ無イカラ、餘裕ガ出來タラバ希望ニ副フコトガ出來ルダラウト云フコトノ御言葉モ戴イタノデアリマス、段々此席ニ於テ伺ヒマスルト、整理モ稍、其緒ニ就イテ、來ル議會ニハ蠶絲局ヲ設置スル餘裕ハ或ハ生ジハセヌカト私ハ察スルノデアリマス、蠶絲局ヲ御設置下サル時期ヲ御漏シテ戴ケバ、全ク我々ノ願フ所デアリマスガ、御差支ナイ程度デ其邊モ御答ヘ下サルコトヲ、私ハ希望スルノデアリマス

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 今井君ノ唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、色御陳述ニ相成リマシタガ、前段御述ベニナリマシタ所ハ、主トシテ御意見ヲ御述ベニナッタ點ガ多カッタノデアリマシテ、一々ソレニ對シテハ私ノ答辯ヲ御要求ナスタ譯デモナイヤウニ伺ッタノデアリマス、而シテ其御述ベニナリマシタル要旨ニ付キマシテハ、私共至ッテ同感ノ點ガ多イノデアリマシテ、

例へば蠶絲業が今日マデ大ニ發展ヲシテ來テ居ルケレドモ、尙ホ將來憂慮ニ堪ヘナイモノガアル、是ニハ官民モ共ニ幾多ノ施設經營ヲ要スル點ガアルンデハナイカト云フヤウナ御説ニ對シマシテハ、私共、矢張り左様ニ考ヘ居リマス、安閑トシテ、此事業ハ非常ニ發展ヲシテ居ルカラ、之ニ甘シテ居ルト云フコトニ相成リマシテハ、將來誠ニ寒心ニ堪ヘナイ、政府モ固ヨリ、將來ノ此助長ト云フコトニ對シマシテハ、ドコ迄モ努力ヲ致サナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、此業ニ從フ多數ノ人々モ奮發ヲシテ、益、此事業ノ發展ヲ圖ルト云フコトニ御努力ヲ願ハナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマスカラシテ、色々御述ベニナリマシタル、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、私ハ全ク御同様ナ意見ヲ持ッテ居ル、デ、尙ホソレニ付テハ絲價ノ安定ト云フコトヲ圖ラナケレバナラス、現ニ今日、横濱ニ於キマシテアノ暴落ヲ來シタ結果、不自然ナル相場ヲ現ハシテ、非常ニ不利益ナル境遇ニ立ッテ居ル、斯ウ云フコトハ今年バカリデハナイ、能クアル例デアリマシテ、不自然ナル相場ガ現ハレ、是ハ延イテハ漸次、此生絲ノ販路ヲ却ッテ狹メルト云フヤウナ結果ニ陥ル、ドウシテモ此絲價ヲ安定セシムル所以ノ途ハ考究シナケレバナラスト云フ御意見ノ下ニ、ソレハドウスレバ宜イカト云フコトニナレバ、即チ持久ノ考ヲシナケレバナラス、實力ヲ養フ、主トシテハ是ハ金融ノ問題デアルト云フ御説デアッタノデアリマス、之ニ付キマシテ、最後ノ結論ニ付テ、此金融ニ付テ、政府ハ如何様ニ考ヘルカト云フ御問ヲ御發シニナッタノデアリマス、是ハ無論、私カラ大體ヲ御答ヘ致シタイト思ッテ居ルノデアリマス、生産費ノ點ヲ更ニ御述ベニナッテ、良品物ヲ造ルト同時ニ成ルベク生産費ヲ安クシテ、ソレデ以テ品物ヲ餘計ニ市場ニ出ス、而シテソレガ賣行クト云フコトニシナケレバナラスト云フ御説、此生産費ノ問題モドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカ、生産費ヲ安クスルト云フコトニ付テ、ドウ云フ風ニ考ヘテ居ルト云フコトガ御尋ノ一點デアッタ、私ハ、此生産費ヲ安クスルト云フコトニ付テノ御尋ノ點ト、ソレカラ金融ノ點ニ付テ如何様ニ考ヘテ居ルカト云フ點トニ付テ、先ヅ御答ヲシタイト思フノデアリマス、此二ツノ點ニ付キマシテハ、當局者ノ考ヘテ居リマス所ハ多少相關聯ヲシテ居ルノデアリマスカラ、御答ヲスルニハ二ツノ點ガ關聯シテ御答ヲスルト云フコトニナルカモ知ラスト思ヒマスカラシテ、豫メ御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、如何ニモ御説ノ如ク此製絲家ノ金融、所謂製絲ノ資金ト云フモノノ融通ヲ圖ラレテ居ル點ニ

於キマシテハ、誠ニ今日ノ儘デハイケナイ點ガ多イ、申サバ是モ矢張り不自然デ、製絲家ノ金融ノ特色ト云フカ、或ル意味ニ於テハ如何ニモ是ハ缺點デアルト、私共考ヘテ居リマス、其原因ハ何所ニアルカト申セバ、是ハ矢張り今井君モ稍、此席ニ於テモ御述ベニナッタ點モアルノデアリマス、ドウモ製絲業ト云フモノガ兎角投機的ノ事業ノヤウニ見ラレテ居ル、ソレト同時ニ此事業ガ小サク分レテ居ッテ、如何ニモ全體ノ統一ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ點ニ於テ、弱點ヲ持ッテ居ル爲ニ、兎角此小サイ工場ガ多ク、纏マッタ大キナ工場モ無イト云フ點カラシテ、信用ガ薄弱デアアル、而モ此繭カラ絲ニナッテ來ル間ニ於テ、貸付ヲ受ケルト云フコトニ付テ、兎角無擔保ノ貸付ガ多イ爲ニ、却テ金融ノ圓滑ヲ缺クト云フヤウナ狀況モアルノデアリマス、サウ云フ點ニ加フルノニ、製絲ガ一時ニ多額ノ資金ヲ要スルト云フコトニナッテ居ルガ爲ニ、兎角金利ガ高クナッテ來ルト云フヤウナ傾キヲ有シテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、是ガ同ジク融通ヲスルニ於キマシテモ、此製絲ニ關スル手形ガ、他ノ紡績手形其他ノ普通ノ商業手形ヨリモ、金利ガ高イト云フ狀況ニナッテ居ッテ、如何ニモ製絲ノ金融ト云フモノハ思フヤウニ行ッテ居ラスト云フ事實ヲ認メルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、之ニ對シテハ相當ノ施設ヲ爲シテ、成ルベク金融ガ圓滑ニナルヤウニ計畫ヲシナケレバナラスト、當局者ハ考ヘテ居リマス、根本ノ策ト致シマシテハ、ドウシテモ此製絲業ト云フモノヲ工業的ノ經營ニ移ス、是ハ工業的ノ經營ニナッテ居リマスケレドモ、前申上ゲマス如ク兎角投機的ノ事業ノ如ク思ハレテ居ルト云フヤウナ一ツノ弊ガアルノデアリマス、ソレニハ矢張り唯今申シマスル此小サイ工場ハ成ルベク之ヲ合同シテ、成ルベク大キイ組織ノモノニシテ、統一ヲ圖リ得ルモノニシナケレバナラス、ソレカラ其次ニハ此ノ繭ヲ擔保トシテ金融ノ途ヲ開クト云フ途モ考究シナケレバナラスデアリマセウ、從テ一方ニハ乾繭取引……生繭デアアルカラ此取引上ニハ非常ナル弊ヲ生ジ、此取引ガ圓滿ニ行ハレナイト云フ結果ニナッテ居リマスカラ、乾繭ノ取引ヲ助長スルト云フコトモ無論行ハナケレバナラスト思ッテ居ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ施設ヲ十分ニ行ナッテ參リマスレバデス、此金融ノ上ニ於テモ非常ナル便宜ヲ得ルコトガ出來ハシナイカ、ソレニハ政府ガ今日モ熱心ニ主張ヲ致シテ居リマスル、此共同繭倉庫ノ此事業ノ經營ヲ致シテ居リマスル産業組合、或ハ産業組合中央金庫ノ如キモノヲ利用シテ、各般ニ分レテ居ル此一般ノ小サイ製絲業者邊リニ

對シテモ、金融ノ途ヲ開クト云フコトが出来得ルデアラウ、大キイ所ニ至リマスレバ、無論日本銀行ヲ旨ク利用スル、日本銀行ト云フモノトノ連絡ヲ旨ク取ラナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ無論ノ話デアリマスケレドモ、要スルニサウ云フ風デ以テ、乾繭ト云フモノノ統一ヲ助長スル結果ハ、此養蠶業者ニ向テ乾繭ノ取引ヲ助長スル、從テ是ガ共同繭倉庫ト相並ンデ、一般ノ製絲ノ資金ヲ供給スル上ニ於テモ非常ニ便宜ヲ與ヘルコトニナリハシナイカ、私ハ根本ノ策トシテハ工業的ニ此經營方法マデ改メナケレバナラヌト申シタノデアリマスガ、唯今申ス此共同繭倉庫ノコトヤ、或ハ産業組合ノ利用ナドト云フモノハ、應急的ノ策トシテ先ヅヤラナケレバナラヌ點デアラウト思フノデアリマス、デ、斯ウ云フ風ニシテ、官モ民モ一致シテ此金融ノ便宜ヲ圖ルト云フコトニ致シテ參リマスレバ、私ハ將來ニ於テ今日ノ如ク行詰ッタガ如キ狀態ノ製絲金融ヨリモ、モウ一步進ンデ此金融ノ便宜ヲ圖ルコトが出来ハシナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、衆議院ニ於テ製絲ノ資金ニ關シテ問題ガ起リマシタ際モ、私ハ具體的ノコトハ申シタノデアリマセスケレドモ、大體ハ斯様ナ方針ノ下ニ、此製絲業者ノ金融ノ圓滑ヲ圖ルト云フコトニ付テハ、一步ヲ進メタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ此生産費ノ問題デアリマスガ、是ハ今日ノ狀況ガ生絲ノ此生産費ガ高イト云フコトニ付テノ原因ハ、色々アルデアリマセウケレドモ、主トシテハ此一ツハ金利ノ問題、此金利ガ高イト云フコトハ矢張り生産費ヲ高クスルト云フ原因ニナッテ居ルノデアリマスカラ、唯今申スヤウニ金融上ノ便宜ヲ圖ルト云フコトニ相成リマスレバ、從テ生産費ヲ安クスルト云フコトノ一方法ニハ相成ルト考ヘルノデアリマス、ソレカラ今一ツハ矢張り工賃、工賃ヲ安クスルト云フコトヲシナケレバ、矢張り此生産費ヲ安クスルト云フ途デハナイノデアリマス、デ、是ハ矢張り工賃ヲ安クスルト云フコトニ付テ、物價ノ關係モアルシ、或ハ色々ノ點ニ於テ考究シナケレバナラヌ點ガアルノデアリマスケレドモ、是モ矢張り官民一致シテ、將來成ルベク此生産費ヲ安クスルト云フコトニ努力イタシマスレバ、從テ此製絲業者ノ製絲上ノ生産費ヲ減ズルト云フコトニ付テハ、相當ノ效果ヲ現ハスコトが出来得ナイ譯デモアルマイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、兎角不自然ナルコトガ多ク行ハレテ居ルノデアリマスカラシテ、成ルベク之ヲ自然ニ直ス、自然ニ持直スト云フコトガ最も必要ナル點デハナイカト當局者ハ斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、第三點トシテ

御尋ネニナリマシタノハ、矢張り此蠶絲局ノ事デアッタノデアリマス、蠶絲業ノ獎勵發達ヲ圖ルト云フ目的ノ上カラ、成ルベク蠶絲局ヲ設置シテ、サウシテ此助長行政ノ上ニ大ニ手腕ヲ振フコトが出来ルヤウニシタイト云フ御希望ニ付キマシテハ、當局者モ矢張り其希望ヲ同ジウ致シテ居ルノデアリマスガ、唯之ヲ直チニ設置スルコトが出来ナカッタト云フコトニ付キマシテハ、財政上其他ノ事情カラシテ、本年度豫算ノ中ニ蠶絲局設置ト云フ經費ヲ要求スルコトが出来ナカッタノハ、私共トシテモ固ヨリ遺憾ニ存ズルノデアリマス、併シ將來ニ於キマシテハ、或ル機會ニ於テ、成ルベク近キ時機ニ於テ、此蠶絲局ト云フコトガ實現スルヤウニ致シタイト云フ、私ハ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイ

○今井五介君 唯今農林大臣ヨリ御親切ナ御答、御説明ガアリマシテ、私ハ感謝スル次第デアリマス、唯チヨット伺ッテ置キタイトハ、乾繭取引ヲ助長スルガ爲ニ、新タニ御施設ヲ爲スツテ、今ヤ實行ニ及ンデ居ルノデアアル、是ハ私モ理想トシテ全ク結構ナ御施設デアルト思フノデアリマス、此問題ハ、私ガ彼是レ申上ゲルコトハ誤解ヲ生ズルヤウナ嫌ヒガアルノデ、遠慮イタシタイト思ヒマシタガ、是ハ御參考マデニ御聽キヲ願ヒタイ、我國ノ蠶絲業者ガ今日ノ如ク發達シタ原因ハ、那邊ニ在ルカト申シマスルト、製絲業者ト養蠶家ガ直接ニ取引シタ、其間ニ何等隔タリガ無カッタ、偶、仲買業者ガアリト雖モ、能ク養蠶家ノ生産シタル所ノ品物ノ良否ヲ製絲家ガ直接知ルコトヲ得テ、互ニ獎勵……互ニ助け合ッテ茲ニ至ッテ、今日ノ此達成ヲ致シタト私ハ思フ、其半面ニ於テ、支那ノ取引ニ付テチヨット御聽キヲ願ッテ置キタイト思フ、私ハ明治二十六年ニ初メテ支那ニ渡リマシテ、支那ノ繭ノ輸入ヲ企テタ、爾後數回ニ互ッテ視察ヲシ、今日ニ至ッテハ彼ノ地ニ工場モ營ンデ居ルノデアリマス、其當時ト、今日ノ支那ヲ見マスレバ、支那ノ繭ノ品位ガ優ッテ居ルカ、衰ヘタカト云フト、段々衰ヘテ來タノデアリマス、明治ノ初年カラ中頃マデハ、支那ニ於キマシテモ、製絲家ガ乾繭場ヲ持ッテ、自ラ繭ヲ賣買シタノデアアル、其後段々乾繭業者ガ發達シ、製絲家ノ力ガ其反對ニ衰ヘタ、ソレデ多クハ、支那ノ製絲業ハ乾繭業者ノ手ニ依ッテ製絲ガ行ハレテ居ル爲ニ、製絲家ハ價ノ如何ニ依ッテ品物ヲ買フ、何處ノ地方デドウ云フ物ガ出來タカト云フコトハ、重キヲ爲サナイノデアリマス、從テ養蠶ノ惡イ物ヲ取ッテ高ク賣ラウ、其時限リデ、其繭ノ良否ガ製絲家ニ（聽取シ難シ）ナイ、斯ウ云フ爲ニ支那ノ蠶

絲業が段々衰へたと云フコトハ、單リ私ノ觀察バカリデナク、何レモ左様ニ感ジテ居ルノデアル、然ル處此度我が國ニ於テモ、稍、支那ニ於ケル乾繭取引ト同様ナコトガ行ハレルノデアリマス、然ラバ此取引ノ上ニ於テ我が國ノ從來ノ慣習ニ副フベク、成ルベク養蠶家ノ生産シタル物ガ製絲家ノ希望ニ副フヤウニ、又製絲家ト養蠶家ト互ニ、其間ノアヒダニ、乾繭業ノ爲ニ疎隔ヲ來サナイヤウニ、從來ノ美風ヲ此業ノ上ニ齎ラスコトヲ、私ハ希望トシテ御聴キヲ願フテ置ク次第デアリマス

〔服部一三君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公傳徳川家達君) 服部一三君

○服部一三君 質問ガアリマスガ、宜シウゴザイマスカ

○議長(公傳徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○服部一三君 此處デ致シマセツカ

○議長(公傳徳川家達君) 大キナ御聲デ願ヒタウゴザイマス

○服部一三君 宜シウゴザイマス、第一ニ伺ヒマスガ、「公共團體ノ設クル生絲検査所」云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ第一條ノ一項デ見マスと云フト、「國ノ生絲検査所」トアルカラ、他ノ公共團體デ設ケタ所ノ生絲検査所ト云フモノハ、國ノ生絲検査所ノ代用……代理ト云フヤウナコトデ御許シニナリマスデスカ、ドウ云フ性質ノモノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒマス、此検査所ハ手数料ト云フヤウナモノヲ徴收スルコトヲ御許シニナルノデアリマスルカ、如何デアリマスカ、其次ハチヨット質問ガ長ウアリマスケレドモ、大キイ聲デ言ヒマスカラ、此處デヤリマス、私ノ親友デアリ、又斯業ノ専門家デアル所ノ今井君ヨリ、喋々此製絲家ガ悲況ニ陷ッテ居ル、其狀況ト、ソレヲ救済スル方法ニ付テ御話ニナリマシタガ、私ガ伺ヒタイノハ、今日ノ製絲家ガ悲況ニ陷ッテ居ルノハ、一ツハ今井君ノ仰シヤル通りニ、實ニ此事業ト云フモノハ、性質トシテ不安定ナモノデアアル、是等ハ資金ノ融通ガ乏シイト云フコトデ、ソレヲ救済スルコトヲ大臣ニ色々伺ハレタ様子ニ聞エマシタガ、大臣ニ伺ヒタイノハ、全體綿絲業ト、此蠶絲業トヲ較ベマスルニ、綿絲業ト云フモノハ、矢張り誠ニ不安ナ事業ト云ヘバ云ハレルノデアアル、ナゼナレバ、此原料ト云フモノハ悉ク外國カラ取ッテ來ルノデアアル、外國デ産出スルノハ、其土地ノ氣候ノ良否ニ關係シ、又他ノ國ノ需要供給ニモ關係イタスノデアリマスルガ、其原料ヲ以テ、コチラデ事業ニ從事シテ居ルカラ、其危険ナルコ

ト、不安定ナルコトハ、蠶絲業トサウ違ヒハシナイデアラウト思ヒマスルガ、然ルニ綿絲業ハ今日デハ大體カラ言フト云フト、誠ニ安定シテ居ッテ、少々ノ不況ナコトハアツテモ、ナカク動カナイ、然ルニ蠶絲業ノコトニ付キマシテハ、屢、ヤア官カラ保護ヲシテ貰ヒタイトカ、ドウシテ貰ヒタイトカ云フコトヲ聞キ、前年モ確カ官カラ大分保護ガアツタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、ソレデ此缺點ト云フモノハ、綿絲業者ハ常々注意シテ、マサカノ事ガ起ッタ時分ニハソレニ當ルダケノ用意ヲシテ、積立金ト云フモノヲ常々非常ニ澤山置イテ居ル、年々ソレヲ増シテ居ルノデアアルガ、蠶絲業者モ時トシテハ非常ニ儲ケタト云フヤウナコトヲ新聞デ屢、聞キマスガ、蠶絲業者モ矢張りサウ云フコトヲ常々シテ居ッテモ、矢張りイカスノデアリマセウカ、或ハ先刻御話ノヤウニ、小サイ蠶絲業者ガ多イカラ、サウ云フ譯ニイカナイト云フコトデアリマセウカ、若シモ小サイ、蠶絲業者ガ多ウテ、ソレガイケナイト云フコトデアレバ、ソレハモウ直チニ合併スルヤウニ御著手ニナラナイノハ、甚ダ手後レノコトノヤウニ思ヒマスルデ、其點ニ付テ御意見ヲ聽キタイ、ソレカラ此、今井君モ頻リニ御憂慮ニナツテ居リマシタ人造絹絲ノコトデス、是ハ敵トカ味方トカ色々御話ガアツタヤウデアリマスガ、本員ハ此事ニ付テハ、十年以來、日本ノ蠶絲業ノ大敵ト思ウテ、使用者ニモ屢、注意ヲ與ヘタコトモアリマスルガ、私ガ御聴キシタイノハ、此人造絹絲ト天然ノ繭ヲ用井テノ絲トガ、常ニ競争シ得ルト云フ御見込ガ確ニアリマスカ、ドウカト云フコトデアリマス、人造絹絲ハ先キニ述ベマシタヤウニ、天然ノ繭ノ如ク不安定ナコトハ無い、何時モ同ジヤウニ出來ルノデアアル、氣候ガ悪カラウガ、良カラウガ、ソレニハ少シモ關係ナイ、又原料モ安イノデアアル、從テ其生産費モ非常ニ違フノデアアル、今日ニ於テハ其產出シタ所ノ物ノ品質ハ、或ル點ニ於テハ、天然ノ物ニ比較シテ劣ッタ所モアリマセウガ、此價ノ點ニ付テハ、マア非常ニ安イト云フコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、十年前ニ御互ニ誰ガ、今日ノヤウナ人造絹絲ガ出來ルト云フコトヲ豫期シテ居リマシタデセウカ、恐ラク此業ニ當ッテ居ッタ人々ノミデアラウト私ハ思フノデアリマス、過グル大戰爭ノ起ル前ノ年ニ、或ル獨逸ノ製造家ヤ學者ヤラ、自分ハ今、人造絹絲ノコトニ付テ日夜研究シテ居ルガ、數年ノ後ニハ天然ノ物ニ劣ラヌヤウニシテ見ヤウト云フコトヲ考究シテ居ルト云フノヲ讀ンダコトモアリマスルガ、其後、戰爭モアリ、又總テノコトガサウ進ムモノデモアリマセウカラ、サウモ參リマセ

スガ、今日デハ非常ナ進歩デアッテ、御承知ノ通り、產出高ハ天然ノ蠶絲ト、タント違ハヌト私ハ記憶シテ居リマス、ソレデ今日デハ生絲ト競争スルト同時ニ、綿絲ト競争スルト云フコトノ方ヘ方向ヲ向ケテ居ルヤウニ見エマスルガ、世ノ中ト云フモノハ安クテ品質ガサウ悪クナイト云フ時分ニハ、其方ヲ買フ人ガ多ウナルコトハ、是ハ水ノ低キニ向フガ如キモノデアッテ、逆モ止メラレルモノデハナイ、ソレデ今日安閑トシテ、天然ノ綿絲ヲ以テ競争ガ爲シ得ラレルト云フ御見當ガ十分著イテ居リマスルカ、ドウカ、私ハ能ク覺エテ居リマスルガ、明治ノ三十三年頃ニハ、織物ヲスル地方ヲ廻リマシテ、此人造染料ヲ用非ナイト云フト酷イ目ニ遭フゾト云ウテ、色々説諭ヲシテモ、イッカナ當業者ハ聽カナカッタ、ソナ事ヲ仰シヤッタ所ガ、日本ノ特殊藍トカ何トカ云フヤウナ良イ色ガ出ルモノデアリマセヌ、是ハモウ極力反對シタモノデアル、數年ナラズシテ、ドウデアリマスルカ、今日ハ皆人造染料ニナッテシマッタノデアル、私ハ常ニ其事ヲ思ウテ、人ニ向ッテモ、是ハ餘程注意セヌトイカヌ、殊ニ製絲家ガ儲カッタ時分ニハ、事業ヲ擴張スルト云フカ、或ハ外ノ方ヘ向ケルカシテ、積立金ト云フ方ノコトニハ準備ヲシナイヤウデアリマスルガ、是等ノコトハ先ヅ第一ニ當局デ御注意ニナラナクテハナラヌコトノヤウニ本員ハ思ヒマスルガ、是等ノ點ニ付テハ、政府當局ハドウ云フ御考デアリマスルカ、御教示ヲ願ヒタイ

〔國務大臣早速整爾君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(早速整爾君) 唯今ソ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、第一ハ此公共團體ノ検査所ヲ認メルト云フコトニ付キマシテ、ソレハ國ノ検査所ニ代用スル意味ニ於テ之ヲ認メルカト、斯ウ云フ御尋デアッタノデアリマスガ、全ク左様デアルノデアリマス、但シ國ノ検査所ト同様ノ設備ヲ爲シテ其正量検査ヲスルノニ差支ナイ範圍ノ十分ノ設備ヲスルト云フコトヲ前提ニ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二、手數料ノ御尋デアリマスガ、是ハ手數料ヲ徴シマス積リデアリマス、ソレカラ第三ニ製絲業ノコトニ關シテ、兎角、製絲業ノ不安定ヲ訴ヘルト云フ點ニ付テノ御尋デアッタノデアリマス、此原因ハ色々アルコトデアリマスケレドモ、前刻モ私申述ベマシタル如ク、主トシテ此小サイ事業ガ多イ、事業ト云フヨリモ元々此養蠶業ガ農家ノ副業トシテ發達シテ、ソレニ伴ウテ此製絲業ガ起ッテ來タト云フヤウナ譯デアリマシテ、誠ニ小サイモノガ多イ、工場ナント云ヒマシテモ、殆ド此個人的ノ小サイ工場ガ多イト

云フ風デ、全國ニ是ガ散在イタシテ居リマス、相集マッテハ大變大キナ事業ニ相成ッテ居ルノデアリマスケレドモ、如何ニモ小サイ、小サイガ爲ニ所謂前刻申シマシタ通りニ、此生産費ニ於テモモウ少シ安く出來ルモノヲ、此小サイ工場ガ分立シテ居ルガ爲ニ、生産費モ高クナッテ來ルト云フヤウナ影響ヲ受ケテ居リマス、金融ノ途モ十分ニ開ケヌ、所謂信用ノ基礎ガ確實ニナッテ居ラヌト云フ譯デ、或ハ蘭ナラバ蘭ノ投資ヲシナケレバナラヌ、生絲ニアッテモ生絲ノ投資ヲ時トシテハシナケレバナラヌト云フコトガ起ッテ來ルヤウナ、一ツノ弱點ヲ持ッテ居ルノデアリマス、是ガ即チ此事業ニ關スル不安定ノ一ツノ原因ヲ爲シテ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、根本ノ策ト致シマシテハ、前刻モ申述ベマシタル如ク、ドウシテモ此工場ノ勞働、而シテ成ルベク大キナモノニ組織ヲ變ヘサセルト云フヤウナコトハ、誠ニ今後ニ處スル所以ノ途トシテハ必要ナル點デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ第四ニ御尋ニナリマシタル、此人造絹絲ノコトデアアルノデアリマス、人造絹絲ノコトニ付キマシテハ、先日來此議場ニ於テ色々御述ベニナッタ方モアルノデアリマス、如何ニモ近時此ノ人造絹絲ノ事業ガ段々發達ヲシテ參ッテ、隨分人造絹絲ノ生産額ガ殖エテ參リマス同時ニ、人造絹絲ニ對スル需要ト云フモノモ擴張マッテ來テ居ルノハ、全ク事實デアリマス、唯私共必シモ此人造絹絲ヲ見テ悲觀スルニモ及ブマイト思ヒマスル理由ハ、今日ノ狀況デ見マスレバ、兎ニ角人造絹絲トハ天然絹絲ノ方ハ成分ガ違ッテ居リマスルガ爲ニ、從テ此用途ガ自ラ變ッテ居ル、ソレガ爲ニ現ニ今日ニ至ルマデノ間デハ、此人造絹絲ノ爲ニ天然絹絲ト云フモノガ其用途ヲ遮ラレルト云フヤウナ狀況ハ無イノデアリマス、人造絹絲モ盛シニナッテ參リマスルケレドモ、併シ同時ニ天然絹絲モ非常ニ盛シニ賣レテ行ク、斯ウ云フヤウニ相伴ッテ居ル狀態デアリマスガ故ニ、必シモ人造絹絲ノ發展ヲ見テ悲觀ヲスルニハ當ラナイコトト考ヘテ居ル次第ナノデアリマス、併ナガラ色々此工業化學ノ進歩ニ伴ヒマシテ、人造絹絲ノ改良ト云フコトモ時々刻々ニ行ハレテ行クト云フ狀況ニ相成ッテ居リマシテ、是モ尙ル譯ニイカヌ、品物モ良クナッテ行キ、色々其艶ナドモ御説ノ通りニ段々良ク變ッテ來テ居ルト云フ、今日科學ノ進歩ニ伴ヒマシテ、將來ハドノヤウニ人造絹絲ニ改良ヲ加ヘラレルカモ知ラヌト云フコトハ、我々モ之ヲ恐レテ掛ラナケレバナラヌ點デアリマスカラ、此點ニ於キマシテ、我々天然絹絲モ益々改良ト云フコトニ力ヲ加ヘナケレバナラヌ、人造絹絲ヲ矢張り敵トシテ戰フ

ト云フ意味ニ於テ、ドコマデモ之ヲ改良ヲシテ、人造絹絲ノ爲ニ其販路ヲ侵サレナイヤウニシナケレバナラスト云フコトヲ、實ハ主眼ト致シテ、此蠶絲業ノ經營ト云フコトニ付テハ、注意ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスカラシテ、將來ニ於キマシテモ、化學ノ進歩ニ伴ッテ、人造絹絲モ亦更ニ改良ヲ加ヘラレ更ニ發展ヲスルト云フ時期ハ到來ヲスルカモ知ラスノデアリマスガ、併シ同時ニ又我が天然絹絲ニ於テモ十分ノ改良ヲ加ヘ、十分ノ發達ヲ圖ルト云フコトニ致シテ參リマスレバ、是ハ必シモ此人造絹絲ノ發展ヲ恐レルニハ當ラナイト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ル次第ナノデアリマス

○山田惠一君　チヨット私ハ此席カラ御尋ヲ致シタイノデアリマス、此検査法ノ第一條ニ「主務大臣必要アリト認ムルトキハ公共團體ノ設クル生絲検査所ヲシテ前項ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得」ト斯ウ書イテアリマスニ付キマシテ、公共團體ノ検査所ト云ヒマス、唯今ハ福井ト神戸ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、デアリマスガ、是ハ一體ドウ云フ意味デスウ云フコトヲ御書キニナッタノデアリマスカ、御話ガ出來マスカラバ承リタイト思ヒマス

〔政府委員石黒忠篤君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石黒忠篤君)　唯今山田サンカラノ御尋ハ、差當リ政府ガ考ヘテ居リマスル公共團體ノ生絲検査所ハ、神戸ノ市ガ立テテ居リマスル所ノ検査所ヲ指定シャウト云フ考ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、其他ニ於テハ差當リ何等考ヘテ居リマセヌ

○山田惠一君　能ク分リマシタ

○議長(公爵徳川家達君)　本案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

輸出生絲検査法案特別委員

侯爵 徳川 義親君	服部 一三君	子爵 牧野 忠篤君
子爵 西大路 吉光君	大久保利 武君	男爵 伊藤 文吉君
添田 壽一君	小塩八郎右衛門君	中村 圓一郎君

○議長(公爵徳川家達君)　日程第十、郵便年金法案、日程第十一、郵便年金特別會計法案、第一讀會、安達遞信大臣

郵便年金法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正十五年三月十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷 義三

郵便年金法

第一條　郵便年金事業ハ政府之ヲ管掌ス
第二條　郵便年金契約ハ政府カ契約者又ハ第三者ノ生存ニ關シテ其ノ者ニ年金ヲ支拂フヘキコトヲ約シ契約者カ對價トシテ政府ニ掛金ヲ拂込ムヘキコトヲ約スルモノトス

年金契約ノ種類年金受取人ノ年齢掛金及年金受取人ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　年金ノ額ハ年金受取人一人ニ付年額二千四百圓以下トス

第四條　年金契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ郵便年金證書ヲ年金契約者ニ交付ス

郵便年金證書ニ記載スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　年金契約ノ效力ハ掛金ヲ拂込ミタル日ニ始マル

第六條　年金受取人カ第三者ナルトキハ其ノ第三者ハ當然年金契約ノ利益ヲ享受ス

第七條　年金契約者ハ年金契約申込ノ際年金受取人ノ死亡又ハ年金契約ノ解除若ハ變更ノ場合ニ於テ拂込掛金ノ返還ヲ請求スル權利ヲ自己又ハ年金受取人タル第三者ノ爲ニ留保スルコトヲ得

第八條　自己ヲ以テ拂込掛金ノ受取人ト爲シタルトキハ年金契約者ハ年金受取人タル第三者ヲ以テ拂込掛金ノ受取人ト爲スコトヲ得

年金受取人タル第三者ヲ以テ拂込掛金ノ受取人ト爲シタルトキハ年金契約者ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條　年金又ハ第七條ニ規定スル拂込掛金ヲ受取ルヘキ權利ハ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第十條　年金ヲ受取ルヘキ權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス但シ年額二百五

十圓ヲ超ユル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 年金契約者ハ第三者ヲシテ年金契約者トシテノ權利義務ヲ承繼セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ年金契約者カ年金受取人ニ非サルトキハ年金受取人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

前項ノ承繼ハ政府ニ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ政府ニ對抗スルコトヲ得ス

第十二條 年金契約者ハ年金支拂ノ事由發生スル迄ハ年金契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

前項ノ解除ハ將來ニ向テノミ其ノ效力ヲ生ス

第十三條 年金契約者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ年金契約ノ變更ヲ請求スルコトヲ得

第十四條 年金契約者掛金ヲ拂込マスシテ命令ノ定ムル猶豫期間ヲ經過シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ年金契約ヲ既ニ拂込ミタル掛金ニ依ル掛金拂濟年金契約ニ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ掛金拂濟年金契約ニ變更セラレサル年金契約ハ解除セラレタルモノト看做ス

第十二條第二項ノ規定ハ前項ノ解除ニ之ヲ準用ス

第十五條 第七條ノ規定ニ依リテ拂込掛金ノ返還ヲ請求スル權利ヲ留保シタル場合ニ於テハ年金契約者又ハ年金受取人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ拂込掛金ノ範圍内ニ於テ貸付ヲ請求スルコトヲ得

第十六條 年金又ハ第七條ニ規定スル掛金ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ其ノ年金契約又ハ之ニ基キテ爲シタル貸付ニ付政府カ辨濟ヲ受クヘキ金額アルトキハ支拂金額ヨリ之ヲ控除ス

第十七條 當該官署カ命令ノ定ムル所ニ依リ年金又ハ年金契約者若ハ年金受取人ニ返還スヘキ金額ヲ支拂ヒタルトキハ其ノ支拂ハ之ヲ有効トス

第十八條 年金支拂ノ義務及拂込掛金返還ノ義務ハ二年、掛金拂込ノ義務ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第十九條 年金契約者又ハ年金受取人カ郵便年金ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ簡易生命保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

第二十條 前條ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第二十一條 郵便年金ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第二十二條 郵便年金ノ事務ニ關スル郵便物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ無料ト爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

郵便年金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十五年三月十五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

郵便年金特別會計法

第一條 郵便年金事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ掛金、積立金ヨリ生スル收入及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ年金、返還金、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第三條

本會計ニ於ケル歲入總額ノ歲出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ積立ツヘシ

本會計ノ歲計ニ不足アルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入シ又ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ公債ヲ以テ之ヲ保有スルコトヲ得

第五條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 本會計ノ收入支出及積立金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣(安達謙藏君) 郵便年金法案提出ノ理由ニ付キマシテ説明申上ゲマス、今回制定セムトスル郵便年金ハ、國民ノ既ニ活動力ヲ減耗シ所得能力

○國務大臣(安達謙藏君) 郵便年金法案提出ノ理由ニ付キマシテ説明申上ゲマス、今回制定セムトスル郵便年金ハ、國民ノ既ニ活動力ヲ減耗シ所得能力

ヲ喪失シタル老後ノ生活ヲ安定ナラシメムトスル、保險制度ノ一ツデアリマス、現在幾多ノ社會問題中、人ノ將ニ貧困ナラムトスルヲ救ヒ、人ノ將ニ貧困ナラムトスルヲ防グ所ノ、所謂防貧救貧ノ制度ハ重要ナル大問題デアリマシテ、既ニ貧困ニ陷レル者ヲ救済スルノ策ヲ講ズルコトガ固ヨリ必要デアリマスト共ニ、又一面貧困ニ陷ラザラシムルノ對策、即チ防貧ノ手段ヲ講ズルコトモ極メテ緊要ナル事柄ト考ヘマス、幾多ノ保險制度ハ、概シテ此目的ニ副ハムガ爲ニ設ケラレル所ノ最モ進歩シタル相互扶助ノ組織デアアルコトハ言フマデモナイ所デアリマス、而シテ人ノ生命ニ關スル保險制度トシマシテハ、早ク死亡スル者ニ對シテ死亡保險ガ必要デアリマスト同様ニ、長期間生存スル者ニ對シテハ、年金制度ガ最善ノ防貧ノ目的ヲ達シ得ル制度ト考ヘルノデアリマス、人生ノ生活中最モ恐ルベキ事ハ、老幼婦女ノ如キ活動セムトスルモ活動スル能ハズ、殆ド全ク所得能力ナク、而モ家ニ蓄財ナク、又扶養保育スベキ父兄ナキ悲惨ナル狀態デアリマス、是等ノ場合ニ備ヘルガ爲ニハ、或ハ養老保險、貯蓄等、相當ノ效果ヲ納メ得ベキ制度ガアルノデアリマスガ、其養老保險、貯蓄等ニ依リマシテ蓄積シ得タル金額ハ、四圍ノ境遇ニ依リマシテ、其元金ヲ費消シ盡シマス危險ガ伴フノデアリマス、ソレデ、何時マデ生クルカ不明ナル所ノ、所謂豫期シ得ザル生存期間中ノ必要ニ應ジテ、的確ニ準備スルコトハ不可能デアリマス、然ルニ年金制度ハ毎年一定ノ金額ヲ保障スルモノデアリマスガ故ニ、老幼婦女ノ生活ヲ確實ニ安定スルト云フ目的ノ爲ニハ、最モ適切ナルモノデアリマス、從テ他ノ生命保險、貯蓄制度ト、其機能ヲ異ニシ、是等ト相伴ッテ國民生活安定ノ社會制度トシテ最モ必要ナルモノデアリマス、今回制定セムトスル郵便年金制度ハ、斯様ナ目的ノ下ニ、所謂多數民衆ノ利用ヲ目途トスルコトハ勿論デアリマスガ、又中産階級ノ利用ニモ備ヘムトスルモノデアリマス、思フニ、社會ノ健全ナル發達ヲ圖ラムガ爲ニハ、一方ニハ多數民衆ヲシテ自助ノ向上ニ努メシムルト共ニ、他方ニハ中産階級ヲシテ能ク其地位ヲ維持シ、下層階級ニ陷ラザラシムルノ方法ヲ講ズルコトガ最モ肝要ナリト信ズルノデアリマス、郵便年金制度ハ是等ノ必要ニ應ジ、中産階級以下ニ對スル防貧制度トシテ、之ヲ阻止セムトスルモノデアリマス、由來、我國ニ於テハ家族制度ガ發達イタシテ居リマシテ、老幼ノ扶助保育等ハ相當ニ行届イテ居リマスガ、經濟組織ノ變化、國民思想ノ變遷ト時代ノ推移ニ伴ヒマシテ、今後ニ於キマシテ、各人獨立シテ各、其生活ヲ健實

安固ニスルコトガ一層必要デアアルト考ヘルノデアリマス、又會社、工場等ニ於ケル使用人、被使用人トノ關係ニ於キマシテモ、永年誠實ニ勤続シタル人ニ對シ、官吏ニ對スル恩給制度ノ如キモノガ漸次行ハルルニ至ルコトト想像サレルノデアリマスガ、斯ノ如キ場合ニ利用スベキ制度トシテモ、年金制度ヲ確立シテ置クコトガ甚ダ肝要デアアルト信ズルノデアリマス、年金制度ヲ制定セムトスル趣旨ハ、以上述べタル通りデアリマスガ、我國ニ於テハ從來、此種ノ制度ハ未ダ廣ク一般ニ行ハレテ居ラナイノデアリマス、現在、一二ノ保險會社ニ於テ此事業ヲ經營イタシテ居リマスルガ、其成績ハ微々トシテ振ハナイ狀況デアリマス、其振ハザル所以ハ、我國ニ於テハ一般ニ金利ガ高クテ、採算上、經營ガ困難デアアルガ爲ニ、營利會社ハ今日マデ進ンデ此制度ノ普及ニ努メナカッタノデアリマス、從テ一般國民モ此制度ニ關シテ十分ナル理解ガ無ク、自然、年金制度ノ發達普及ガ遅レタノデアリマス、是等ノ點ニ顧ミマシテ、今回之ヲ政府ニ於テ經營イタシマシテ、非營利的ニ、且ツ既設機關ヲ利用シマシテ經費ヲ節約シ、出來得ルダケ掛金ヲ安クシテ、一般金利ノ權衡ヲ圖リ、又全國ニ普及セル八千有餘ノ郵便局ヲ取扱機關ト致シマシテ、利用者ノ便利ヲ圖リ、以テ國民生活ヲ安定シ、延イテハ社會ノ健全ナル發達ニ貢獻セムトスルモノデアリマス、此制定ニ關シマシテハ、政府部内ニ於テハ古クヨリ、即チ去ル明治三十三年郵便貯金法制定ノ際、小口保險ト共ニ併セテ經營セムトスルノ議ガアッタノデアリマス、爾來、調査ノ歩ヲ進メマシテ、大正五年、簡易生命保險事業開始ノ際ニ於テモ、同様ノ議ガアッタノデアリマス、併ナガラ其當時ニ於テハ先ヅ簡易保險ヲ實施シ、相當ノ經驗ヲ經、實績ヲ見タ上、年金事業ヲ始ムルヲ適當ト認メマシテ、引續キ調査シテ今日ニ及ンダノデアリマス、恰モ本年ハ簡易保險モ創業以來滿十年ニ當リ、十年滿期ノ養老保險ノ支拂ヲ開始スルコトニ相成ルノデアリマシテ、是ト關聯シテ、又社會一般ノ情勢カラ見テ、今日之ヲ實施スルヲ適當ト認ムルノデアリマス、本制度ニ關シマシテハ、ソレト專門家ノ意見ヲ徵シ、慎重審議シ、萬遺漏ナキヲ期シタノデアリマスルガ、此事ガ一度、新聞紙上ニ傳ヘラレマシテヨリ以來、社會各方面ニ於テモ非常ニ好感ヲ以テ迎ヘラレテ居リマス、今日マデ現ハレタル意見、輿論カラ見マシテモ、時代ガ確ニ之ヲ要求シテ居ルト信ズルノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスガ故ニ、慎重御審議ノ上、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ詳細ノ點ニ付キマシテハ、委員

會ニ於テ説明イタスコトニ致シマス、次ニハ郵便年金特別會計法案ニ付キマシテ説明ヲ致シマス、本案ハ唯今説明申上ゲマシタ郵便年金法案ト關聯シテ立案ノ必要ヲ認メタモノデアリマス、申スマデモナク、郵便年金事業ハ、年金契約者カラ拂込マセル掛金ヲ運用利殖イタシマシテ、之ヲ年金又ハ拂込元金ノ支拂等ニ要スル費用ニ充テルモノデアリマスカラ、性質上、是ガ收入及支出ハ、一團トシテ獨立ニ計算スルコトガ適當デアリマス、從テ郵便年金事業ニ關スル歳入及歳出ハ、之ヲ一般會計ト區分シテ、特別會計ヲ設置スルノ要アルノミナラズ、他ノ特別會計ト併合經理スルコトモ、收支ノ關係ヲ明カナラシムル上ニ於テ、之ヲ避ケルノ必要ガアリマスカラ、本件、郵便年金事業ハ、其實行機關ヲ同ジウスル簡易生命保險事業ノ會計トモ引離シマシテ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

郵便年金法案外一件特別委員

侯爵 佐佐木 行 忠君 子爵 大河内 輝 耕君

藤澤利喜太郎君

小松 謙次郎君 男爵 黒田 長和君

室田 義 文君

末延 道成君 永田 仁助君

山崎 龜 吉君

○議長(公爵德川家達君) 日程第十二、舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

大正十五年三月十五日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕 谷 義 三

民法施行前ヨリ引續キ存スル永小作權ニ付其ノ設定ノ當時舊來ノ慣行ニ依リテ小作料支拂ノ外當該田畑ノ地租ノ全額ヲ永小作權者ニ於テ負擔スルコトヲ約シタル田畑ニ關シ地租條例第十三條ノ二ノ規定ノ適用ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ永小作權者ヲ所有者ト看做ス

附 則

本法ハ大正十五年分地租ヨリ之ヲ適用ス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ、所得稅法中改正法律案外二十一件ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第十三ヨリ第三十四マデ請願、會議

意 見 書 案

姫路津山間鐵道敷設ノ件

兵庫縣揖保郡龍野町長櫻井幸三郎外五十五名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣揖保郡龍野町ハ郡ノ首腦地ニシテ夙ニ交通ノ要衝ニ位シ從テ商工業亦旺盛ニシテ貨客ノ集散夥多ナルニ拘ラス未成線鐵道姫路津山間鐵道ノ同町ヲ經由セサルハ同地方ノ産業並交通上甚遺憾ナルニ依リ豫定線ノ一部ヲ龍野町經由ニ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

內閣總理大臣若槻禮次郎殿

意 見 書 案

田名部大間鐵道敷設ノ件

青森縣下北郡田名部町長菊池門五郎外八名呈出

右ノ請願ハ大湊線鐵道田名部驛ヨリ青森縣下北郡大畑村ヲ經テ同郡大奥村字大間ニ至ル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル林産、水産及鑛産等ノ資源ヲ開發スルノミナラス海陸交通上並國防上最重要ト認ムルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

萩小郡間鐵道敷設ノ件

山口縣阿武郡萩町長土井市之進外二十八名呈出

右ノ請願ハ山陽線鐵道小郡驛ヨリ分岐シテ山口縣阿武郡萩町ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル豐富ナル農産、林産及鑛産等ノ利源ヲ開發シ且山陽、山陰兩道ノ連絡ニ資スル重要ノ線路ナルニ拘ラス過般財政緊縮ノ影響ヲ蒙リ大正十九年度起工トナリタルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

白河廣田間鐵道敷設ノ件

福島縣西白河郡白河町長丸野實行外百四十二名呈出

右ノ請願ハ東北本線鐵道白河驛ヨリ福島縣岩瀬郡長沼町地方及安積郡福良村ヲ經テ磐越西線廣田驛ニ達スル鐵道ハ沿線地方ニ於ケル林産及鑛産等ノ

利源ヲ開發スルノミナラス風光明媚ナル猪苗代湖畔ヲ探勝スル旅客ニ利便ヲ與フル等運輸交通上ニ貢獻スルコト多大ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

工業用鹽特價供給ニ關スル件

大阪市西淀川區大野町大阪製煉株式會社社長小島甚太郎呈出

右ノ請願ハ大阪製煉株式會社ハ曩ニ硫酸採取後含銅硫化鐵鑛ヨリ銅ト共ニ製鐵原鑛ヲ產出スル瑞典ラメーン式濕式製煉法ヲ採用セシ以來鐵鑛自給問題ノ解決ニ資スルノ外有用ナル副產物ヲ得ムトセルニ拘ラス該事業ニ關クヘカラサル用鹽ノ高價ナルカ爲今尙經營難ニ沈淪セルハ甚遺憾ナルヲ以テ同會社ニ對シ之カ特價供給ノ途ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德 川 家 達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

荒川跨線道路新設ノ件

青森縣青森市大字柳町辯護士川口榮之進外百十五名呈出

右ノ請願ハ青森縣青森市柳町通ヨリ大野村ヲ經テ荒川、高田兩村ニ通スル荒川道路ハ夙ニ交通上並産業開發上便益至大ナルニ拘ラス近時鐵道省ハ操

車場設置ノ爲同道路ノ杜塞シ之ニ替フルニ同市浦町ニ通スル新路線ヲ以テセムトスルモ斯クテハ市郡兩者ノ不利不便尠カラサルニ依リ荒川道路ニ跨線道路ヲ新設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

福島地方裁判所白河支部存置ノ件

福島縣西白河郡白河町長丸野實行呈出

右ノ請願ハ福島縣東西白河、岩瀬及石川ノ四郡ハ行政區劃上竝司法事務執行上共ニ白河區裁判所ノ管轄區域ニ屬スルコト至當ナルニ拘ラス近時郡山市地方民ハ岩瀬郡及石川郡ノ一部ヲ郡山區裁判所ノ管轄區域トナシ且福島地方裁判所支部ヲモ設置セムトスルノ陳情請願アリト聞クスクテ若白河區裁判所ノ管轄區域ヲ減少シ又福島地方裁判所白河支部廢止セラレムカ管轄區域ニ於ケル住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ現制ヲ維持セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

柳津野澤間鐵道敷設ノ件

福島縣河沼郡野澤町長齋藤兵鬼千外十五名呈出

右ノ請願ハ福島縣河沼郡柳津村ヨリ磐越西線鐵道野澤驛ニ至ル鐵道ハ交通

連絡上ニ貢獻スルトコロ多大ナルニ依リ之ヲ敷設セラルルヤウ曩ニ屢請願シ第五十回帝國議會貴族院ニ於テ採擇セラレ測量亦完了シタルニ拘ラス未工事ニ著手セラレサルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

民間航空事業開發ニ關スル件

東京市麴町區有樂町帝國飛行協會會長男爵阪谷芳郎呈出

右ノ請願ハ民間航空事業開發ノ爲帝國領土ノ首要都市間ニ航空路ヲ設置シ之ヲ鄰邦ノ要地ニ延長シテ國防ニ備ヘ尙航空輸送補助法竝航空機製造補助法ヲ制定シ以テ斯業獎勵ノ途ヲ講セラルルヤウ曩ニ屢請願シ貴族院ニ於テ數回採擇セラレタルニ拘ラス未之ニ對スル何等ノ施設ナキハ斯業發展上洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ之カ實施ヲ圖ラシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

蠶絲局設置ノ件

東京府豐多摩郡中野町帝國養蠶組合會長男爵藤村義朗呈出

右ノ請願ハ蠶絲業ハ本邦産業ノ發展上竝農村振興上貢獻スルトコロ多大ナ

ルニ拘ラス未斯業行政機關ノ確立セラレサルハ之カ健全ナル進步發達ヲ期スル所以ニアラサルヲ以テ速ニ養蠶、蠶絲及製絲等ノ諸業ヲ管掌スル蠶絲局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

堺郵便局ヲ一等郵便局ト爲スノ件

大阪府堺市堺商業會議所會頭辻本豐三郎呈出

右ノ請願ハ大阪府堺市ハ近時大阪市ノ都市計劃ト相俟テ産業益發展シ市勢頓ニ向上ヲ來シタルヲ以テ一般行政機關ハ皆時勢ノ進運ニ順應シテ各擴張セルニ拘ラス獨郵便局ノミ依然二等局ナルハ通信事務激增ノ今日甚遺憾ナルニ依リ堺郵便局ヲ一等郵便局トシ同郵便局長ノ地位ヲ進メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

滋賀縣東黒田郵便局ニ集配事務開始ノ件

滋賀縣坂田郡東黒田村長高畑友吉呈出

右ノ請願ハ滋賀縣坂田郡東黒田村ハ近時産業ノ發展著シク貨客ノ集散頻繁ニシテ通信事務夥多ナルニ拘ラス東黒田郵便局ハ集配事務ヲ取扱ハサル爲村民ノ齊シク不利不便ヲ感スルコト痛切ナルヲ以テ同郵便局ニ集配事務ヲ

開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

産業組合中央金庫法中改正ノ件

東京市麴町區有樂町東京府建築組合協會會長西垣恒矩呈出

右ノ請願ハ産業組合ハ自作農創定、職工ニ對スル工場ノ設備及組合員ノ住宅、土地取得等ニ關シ資金ノ需要愈多大ナルニ拘ラス産業組合中央金庫ハ長期年賦貸付ヲ爲シ得ス爲ニ其ノ目的ヲ十分ニ遂行スル能ハサルハ産業發展上甚遺憾ナルニ依リ速ニ該貸付ヲ營ミ得ルヤウ産業組合中央金庫法ヲ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

航路標識設置ニ關スル件

北海道根室郡根室町長本橋貞七呈出

右ノ請願ハ北海道根室國納沙布水道ハ通航船舶逐年増加スルニ拘ラス其ノ通路狹隘、潮流急激ナルノミナラス夏期海霧ノ襲來アリテ遭難船舶尠カラス爲ニ航海業者ノ不安甚シク延イテ同地方ノ開拓ヲ阻礙スルハ遺憾ナルニ依リ速ニ該水道ニ適當ナル航路標識ヲ設クルト共ニ落石燈臺ニ霧笛ヲ附設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致

候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

黒糖、白下糖消費税免除ニ關スル件

沖繩縣那覇市沖繩縣農會長亀井光政呈出

右ノ請願ハ沖繩縣ニ於ケル黒糖及白下糖ハ近時其ノ生産費多額ヲ要スルニ拘ラス販賣價格ハ常ニ世界的市況ニ左右セラレ爲ニ間接税タル消費税モ勢生産者ノ負擔ノ如ク轉嫁シ加之糖類トシテ其ノ質決シテ高位賈澤ノモノニアラサルカ故ニ收支相償セス日ヲ逐フテ斯業者ノ罷弊甚シク本縣經濟上ニ及ホス打撃ノ偉大ナルハ遺憾トスルトコロナルニ依リ速ニ該消費税ヲ免除セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

沖繩分蜜糖業保護ニ關スル件

沖繩縣那覇市沖繩縣農會長亀井光政呈出

右ノ請願ハ砂糖ハ沖繩縣唯一ノ重要物産ニシテ分蜜糖業ノ興廢ハ縣經濟ニ至大ノ影響アルニ拘ラス近時本縣ニ於ケル甘蔗生産者ハ栽培費ノ高價ニ苦ミ爲ニ一方糖價暴落ニ沈淪セル製糖業者ヲモ現時ノ供給價格以下ヲ以テ之ヲ救済スルコト愈難ク兩者ノ前途共ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアルハ斯業發展上遺憾ナルニ依リ分蜜糖原料生産者ニ對シ相當ナル保護獎勵ノ途ヲ講セラ

レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

島根縣邑智郡布施村ニ郵便局設置ノ件

島根縣邑智郡布施村長土崎丈三郎呈出

右ノ請願ハ島根縣邑智郡布施村ハ郡ノ中央部ニ位シテ交通ノ要衝ニ當リ郵便物輻輳スルニ拘ラス同村ニ郵便局ナキ爲村民ノ不便甚シキハ通信上遺憾ナルヲ以テ速ニ之ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵德川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

久利郵便局ニ電信並電話事務開始ノ件

島根縣邇摩郡久利村長森山英作呈出

右ノ請願ハ島根縣邇摩郡久利村ハ近時産業發達シ從テ商工業者ノ來往繁ク爲ニ電信並電話事務夥多ナルニ拘ラス久利郵便局ハ該事務ヲ取扱ハス通信上ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾トスルトコロナルヲ以テ本年度内ニ於テ同局ニ電信並電話事務ヲ開始セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

島根縣美濃郡二川村ニ無集配郵便局設置ノ件

島根縣美濃郡二川村長河野兼右衛門呈出

右ノ請願ハ島根縣美濃郡二川村ハ地域廣大ニシテ近時産業大ニ發達シ郵便事務繁多ナルニ拘ラス道川、都茂ノ兩郵便局ヲ距ルコト遠ク住民ノ不便甚シキハ遺憾ナルヲ以テ速ニ郵便交換所アル同村ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

渡良瀬川改修ノ件

栃木縣足利市昌平町商定方鍋吉外二百四十六名呈出

右ノ請願ハ渡良瀬川ノ下流ハ昨年其ノ改修工事ヲ完了シタリト雖上流ハ今尙洪水毎ニ氾濫シ沿岸地方ニ於ケル被害甚シク從テ産業ノ隆替ニ影響スルハ遺憾ナルヲ以テ栃木縣足利郡山邊村大字田中ヨリ群馬縣山田郡大間間町ニ至ル區間及栃木縣足利郡菱村大字黒川地内ヨリ桐生川渡良瀬川合流點ニ至ル區間ニ對シ速ニ改修工事ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

三國、吉永兩郵便局ニ電信並電話事務開始ノ件

岡山縣和氣郡三國村長竹内安四郎外二名呈出

右ノ請願ハ岡山縣和氣郡三國、神根及英保ノ各村ハ共ニ交通ノ要衝ニ位シ且近時産業著シク發展シ通信ノ敏活ヲ要スル切ナルニ拘ラス三國及吉永ノ兩郵便局ハ電信並電話事務ヲ取扱ハス爲ニ地方民ノ蒙ル不利不便甚シキハ遺憾ナルヲ以テ速ニ兩局ニ於テ電信並電話事務ヲ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

意見書案

海面ニ於ケル行政區域制定ノ件

東京市麴町區内山下町帝國水產會會長伯爵吉井幸藏呈出

右ノ請願ハ海面ニ於ケル行政管轄ニ付テハ從來ノ慣例ニ依ルノ外別ニ明文ノ據ルヘキモノナキヲ以テ漁業ノ取締其ノ他ニ關シ屢紛議ヲ醸生シ司法、行政共ニ甚シキ不便ト困難トニ遭遇スル事實尠カラサルハ遺憾ナルニ依リ速ニ海面ニ於ケル行政區域ヲ定メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正十五年 月 日

貴族院議長 公爵徳川家達

内閣總理大臣若槻禮次郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 請願委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正十四年度歳出總豫算追加案(第一號)、大正十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 明後十八日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後三時三十一分散會